東証プライム　証券コード4323
開催日：2023年6月9日

2023年３月期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

未来を、仕掛ける。

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

Contents

Ⅰ．2023.3期 サマリー
Ⅱ．業績概況
Ⅲ．2024.3期予想と直近の取り組み
Ⅳ．長期成長戦略
Ⅴ．Appendix

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．連結業績　過去同期との比較

（百万円）

	2021.3 通期	2022.3 通期	2023.3 通期	2023.3 対前期比
売上高	18,789	21,399	23,519	+9.9%
売上総利益	4,620	5,688	6,375	+12.1%
売上総利益率（%）	24.59	26.58	27.11	+0.5
営業利益	1,216	2,000	2,385	+19.3%
営業利益率（%）	6.47	9.35	10.14	+0.8
経常利益	1,310	2,052	2,450	+19.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	578	1,330	1,772	+33.2%
総資産	12,861	15,539	17,413	+12.1%
純資産	6,850	9,194	10,816	+17.6%
自己資本比率（%）	52.97	58.94	61.84	+2.9
PER（倍）	14.08	11.88	12.46	+0.6
PBR（倍）	1.20	1.71	2.05	+0.3
ROE（%）	8.90	16.66	17.78	+1.1
ROIC(投下資本)（%）	11.10	16.54	17.08	+0.5
WACC（%）	5.85	4.58	6.09	+1.51
従業員数（人）	1,320	1,448	1,687	+16.5%

◆業績

- 売上高は**12期連続増収・10期連続最高値更新**
- 経常利益は**８期連続増益・４期連続最高値更新**
- 営業利益率は継続的に向上し10%台に着地

◆財政状態

- 連続増益及び良好な手元流動性により、引き続き財務基盤は安定

◆資本効率

- ROE・ROICともに３期連続で上昇
- EVAスプレッドは継続的にプラス値
- PBRは２倍を超える水準を達成

◆従業員数

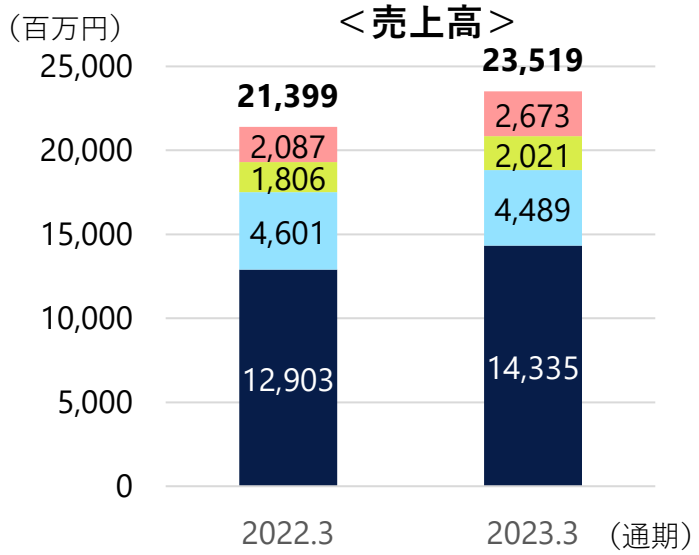
- 新卒採用数は当初計画通り充足
- 受注活況により経験者中心に人材需要増

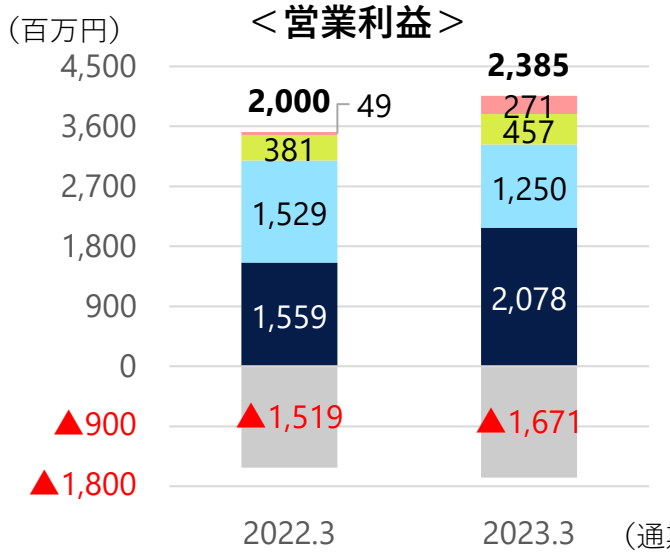
©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

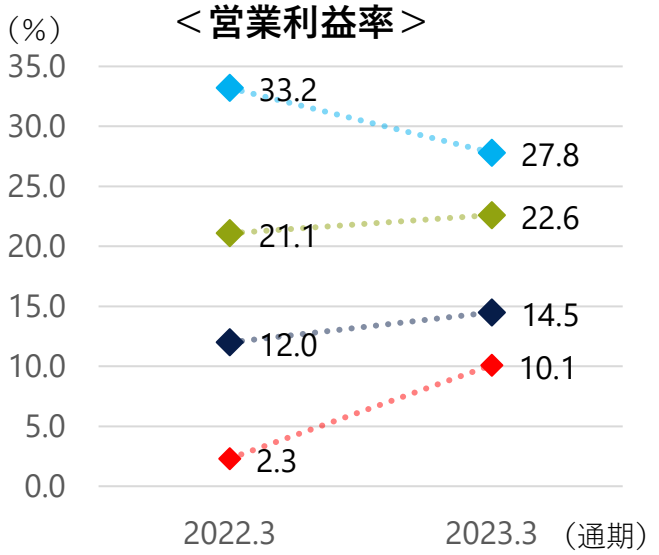
2．セグメント別ダイジェスト

（百万円）

セグメント	事業の状況と増減要因		売上高	営業利益	営業利益率
DX&SI事業	• 新規・既存顧客の大型プライム案件の拡大 • プロジェクトの安定運用による収益性向上	2023.3 通期	14,335	2,078	14.5%
		対前期比	+11.1%	+33.3%	+2.4
パッケージ事業	• GAKUENはPP販売減により減収減益 • BankNeoはPP販売好調により売上・利益ともに成長 • 両サービスとも受注規模は前期比で拡大	2023.3 通期	4,489	1,250	27.8%
		対前期比	▲2.4%	▲18.2%	▲5.4
医療ビッグデータ事業	• 分析サービス及び保険者業務支援サービス等の高収益ビジネスの拡大	2023.3 通期	2,021	457	22.6%
		対前期比	+11.9%	+19.9%	+1.6
グローバル事業	• マレーシアSAP※1事業における新規顧客拡大 • 為替変動は業績プラス作用	2023.3 通期	2,673	271	10.1%
		対前期比	+28.1%	+453.1%	+7.8







DX&SI事業　パッケージ事業　医療ビッグデータ事業　グローバル事業　全社費用

※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．トピックス（2023.3期 3Q以降）

事業活動

- 南アジア・中東圏における SAP※1 ビジネス進出・拡大を図り、インドのチェンナイに Virtual Calibre Consulting India Pvt. Ltd.を設立 [2023/1/6]
- 国立大学法人東北大学様へのGAKUEN導入が決定 [2023/3/22]

株主還元・企業価値

- 2023 年3月期の年間配当金について当初予想の25円から32円へ上方修正（増配及び創立 50 周年記念配当として）[2023/1/26]
- 流通株式時価総額が109億円に達し（2023年1~3月平均）プライム上場維持基準へ適合 [2023/4/20]
- 時価総額275億円に到達し上場来最高値を記録（2023/6/1 終値）[2023/6/1]

アライアンス

- アマゾン ウェブ サービスでのメディカルデータ提供開始 [2022/11/8]
- 近畿大学学生起業家「やるかやらんか」Z 世代学生向け新サービス開発のための協業開始 [2022/12/22]
- 名古屋工業大学平田教授との共同分析結果を「内閣官房COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクト」にて報告 [2023/1/5]
- 東京大学大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター臨床医工学部門 岡田寛之助教と共にメディカルビッグデータを用いた骨折診療に関する共同研究を開始 [2023/1/10]
- 大阪公立大学大学院生活科学研究科 「メディカルビッグデータを活用したヘルスケア分野における研究推進」 に関する連携協定締結 [2023/3/29]
- 「SMART BankNeo」と業務デジタル化ツール「POWER EGG」による営業力強化促進のためのシステム連携開始 [2023/4/3]

非財務等

- 「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定 [2023/3/22]
- JAST創立50周年 [2023/3/26]

※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

Contents

Ⅰ. 2023.3期 サマリー
Ⅱ. 業績概況
Ⅲ. 2024.3期予想と直近の取り組み
Ⅳ. 長期成長戦略
Ⅴ. Appendix

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．連結業績（1）連結損益計算書

（百万円）

	2021.3			2022.3			2023.3			対前期末比	2023.3当初予測	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期		通期	実績増減率
売上高	8,042	10,747	18,789	10,042	11,357	21,399	11,004	12,515	23,519	+9.9%	22,400	+5.0%
売上原価	6,267	7,902	14,169	7,323	8,388	15,711	8,076	9,067	17,143	+9.1%	-	-
売上総利益	1,775	2,845	4,620	2,719	2,969	5,688	2,927	3,448	6,375	+12.1%	-	-
売上総利益率（%）	22.1	26.5	24.6	27.1	26.1	26.6	26.6	27.6	27.1	+0.5	-	-
販管費及び一般管理費	1,752	1,651	3,403	1,726	1,961	3,687	1,924	2,066	3,990	+8.2%	-	-
うち研究開発費	195	204	399	160	276	436	199	270	469	+7.6%	-	-
営業利益	23	1,193	1,216	992	1,008	2,000	1,003	1,382	2,385	+19.3%	2,120	+12.5%
営業利益率（%）	0.3	11.1	6.5	9.9	8.9	9.3	9.1	11.0	10.1	+0.8	9.5	+0.7
経常利益	58	1,252	1,310	1,004	1,048	2,052	1,037	1,413	2,450	+19.4%	2,160	+13.4%
経常利益率（%）	0.7	11.6	7.0	10.0	9.2	9.6	9.4	11.3	10.4	+0.8	9.6	+0.8
親会社株主に帰属する当期純利益	▲309	887	578	686	644	1,330	737	1,035	1,772	+33.2%	1,370	+29.3%
当期純利益率（%）	▲3.8	8.3	3.1	6.8	5.7	6.2	6.7	8.3	7.5	+1.3	6.1	+1.4
包括利益	▲258	1,007	749	706	636	1,342	908	960	1,868	+39.2%	-	-

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．連結業績（2）連結貸借対照表

（百万円）

	2020.3 期末	2021.3 期末	2022.3 期末	2023.3 期末	2023.3 構成比	対前期末 差額	対前期末 増減率
資産合計	12,988	12,861	15,539	17,413	100.0%	+1,874	+12.1%
流動資産	9,602	9,696	12,389	14,187	81.5%	+1,798	+14.5%
有形固定資産	571	542	546	631	3.6%	+85	+15.6%
無形固定資産	794	378	274	242	1.4%	▲32	▲11.7%
投資その他の資産	2,019	2,243	2,329	2,352	13.5%	+23	+1.0%
負債純資産合計	12,988	12,861	15,539	17,413	100.0%	+1,874	+12.1%
負債	6,770	6,011	6,345	6,597	37.9%	+252	+4.0%
流動負債	5,168	4,388	4,621	4,703	27.0%	+82	+1.8%
固定負債	1,601	1,623	1,724	1,893	10.9%	+169	+9.8%
純資産	6,218	6,850	9,194	10,816	62.1%	+1,622	+17.6%
株主資本	6,135	6,592	8,929	10,451	60.0%	+1,522	+17.0%
資本金	1,076	1,076	1,535	1,535	8.8%	+0	+0.0%
資本剰余金	1,113	1,128	1,703	1,702	9.8%	▲1	▲0.1%
利益剰余金	4,178	4,605	5,865	7,389	42.4%	+1,524	+26.0%
自己株式	▲233	▲218	▲175	▲175	▲1.0%	+0	+0.0%
その他の包括利益累計額	53	220	230	316	1.8%	+86	+37.4%
新株予約権	-	5	-	-	-	-	-
非支配株主持分	28	31	34	47	0.3%	+13	+38.2%

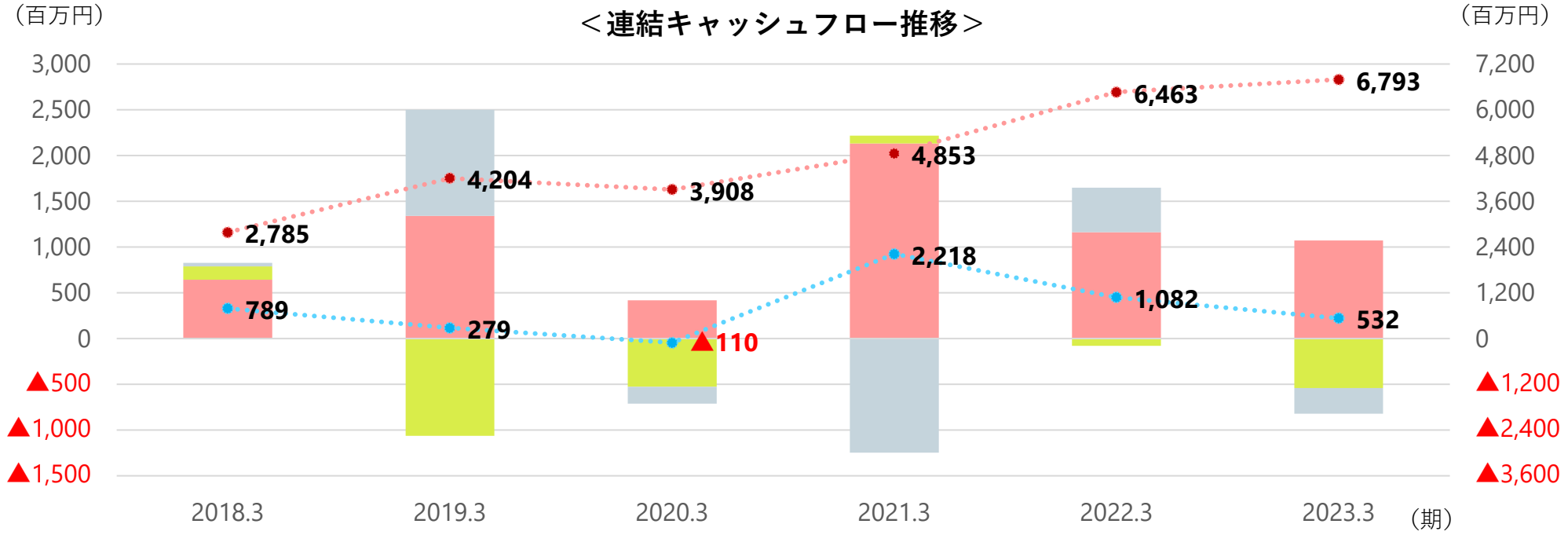
©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．連結業績（3）連結キャッシュフロー

（百万円）

	2018.3 通期	2019.3 通期	2020.3 通期	2021.3 通期	2022.3 通期	**2023.3 通期**
営業キャッシュ・フロー	642	1,342	417	2,131	1,162	1,073
投資キャッシュ・フロー	147	▲1,063	▲527	87	▲80	▲541
フリーキャッシュフロー	789	279	▲110	2,218	1,082	532
財務キャッシュ・フロー	38	1,157	▲185	▲1,247	486	▲280
現金及び現金同等物の期末残高	2,785	4,204	3,908	4,853	6,463	6,793

＜連結キャッシュフロー推移＞

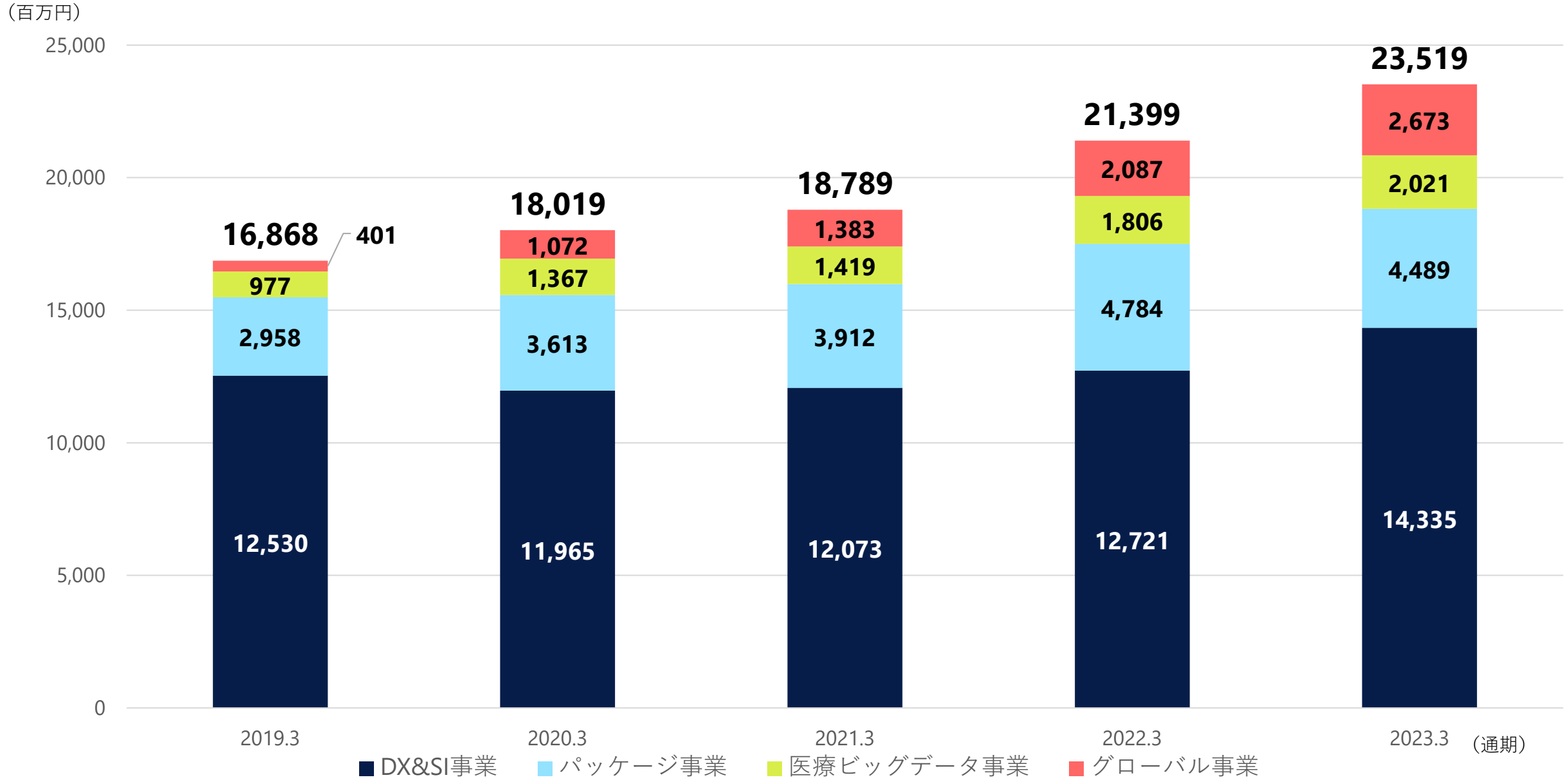


左軸：営業キャッシュフロー　投資キャッシュフロー　財務キャッシュフロー

右軸：フリーキャッシュフロー　現金及び現金同等物の期末残高

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

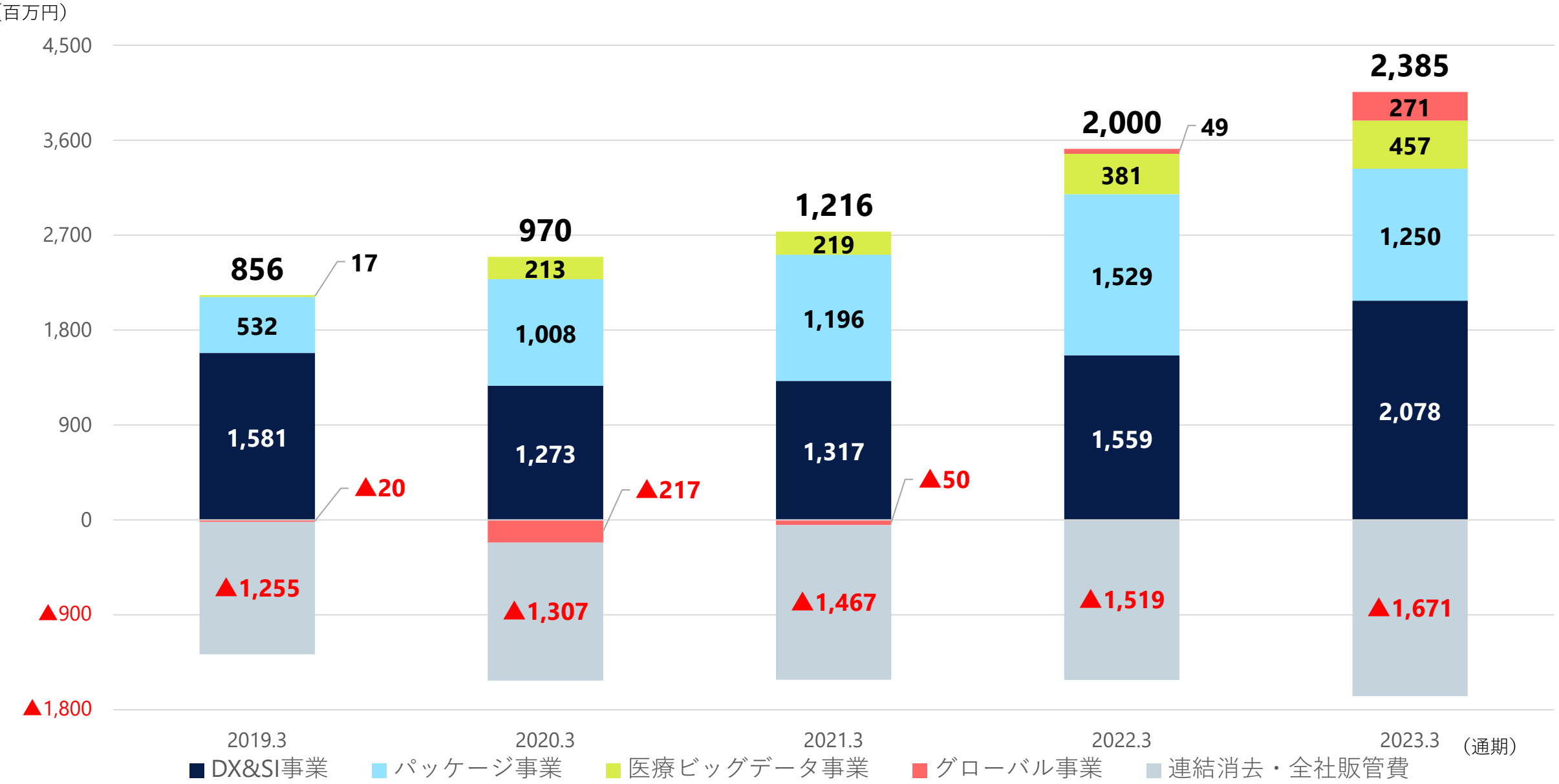
1．連結業績（4）セグメント別売上高推移



※グラフ上部の数値は連結売上高（連結消去後）

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

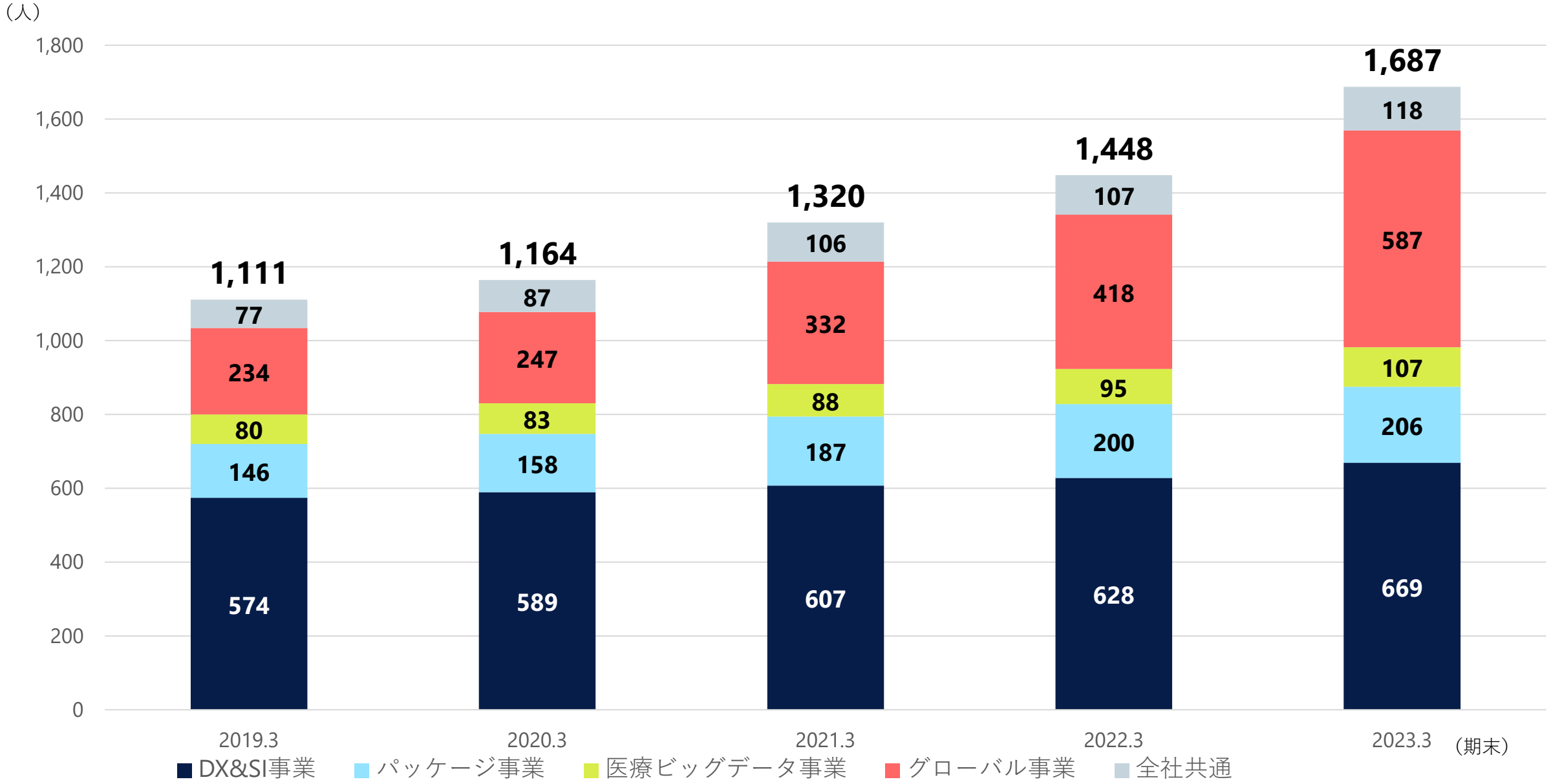
1．連結業績（5）セグメント別営業利益推移



※グラフ上部の数値は連結営業利益（連結消去後）

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

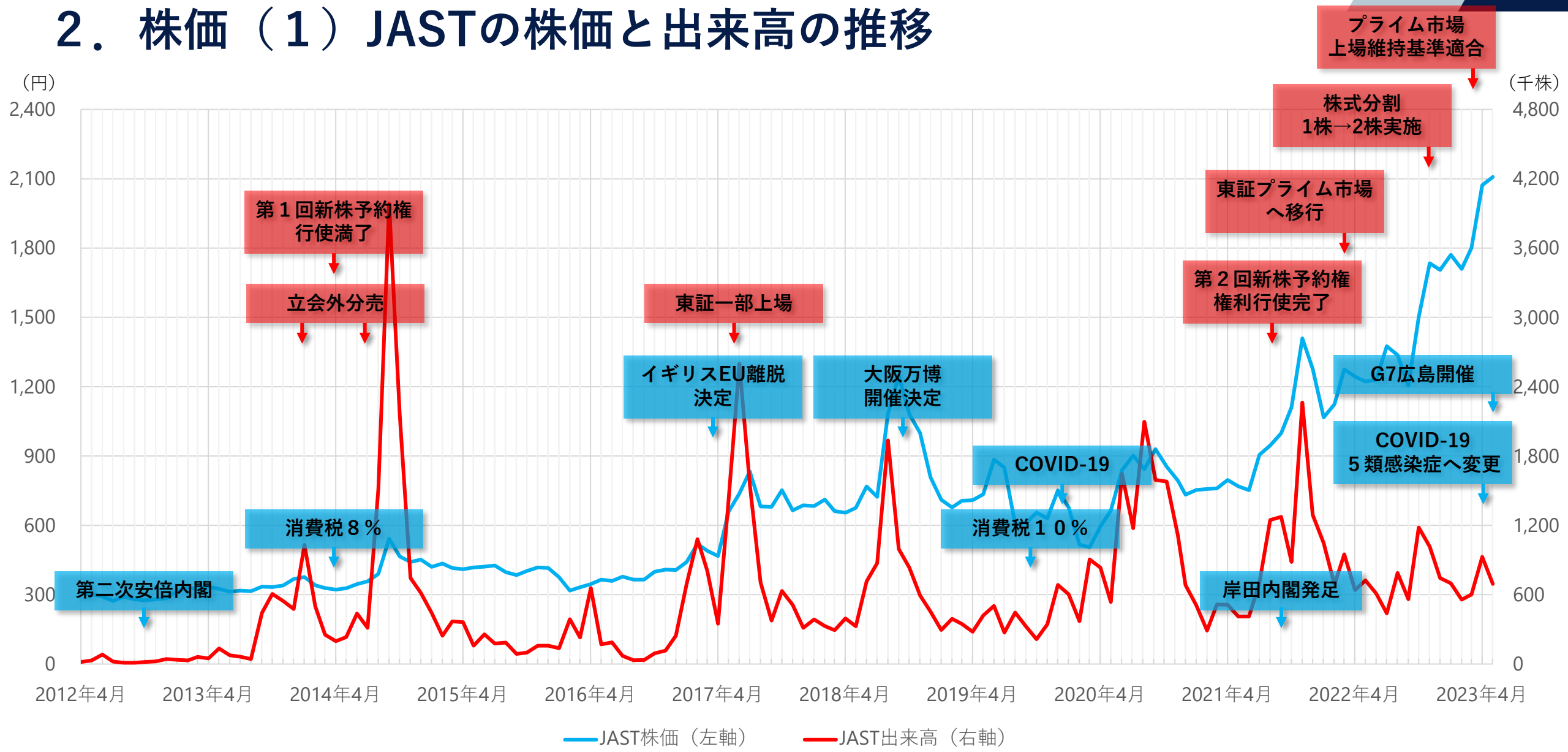
1．連結業績（6）連結従業員数推移



※グラフ上部の数値は連結従業員数　※2023年４月１日付の新入社員（連結）：117名

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．株価（1）JASTの株価と出来高の推移

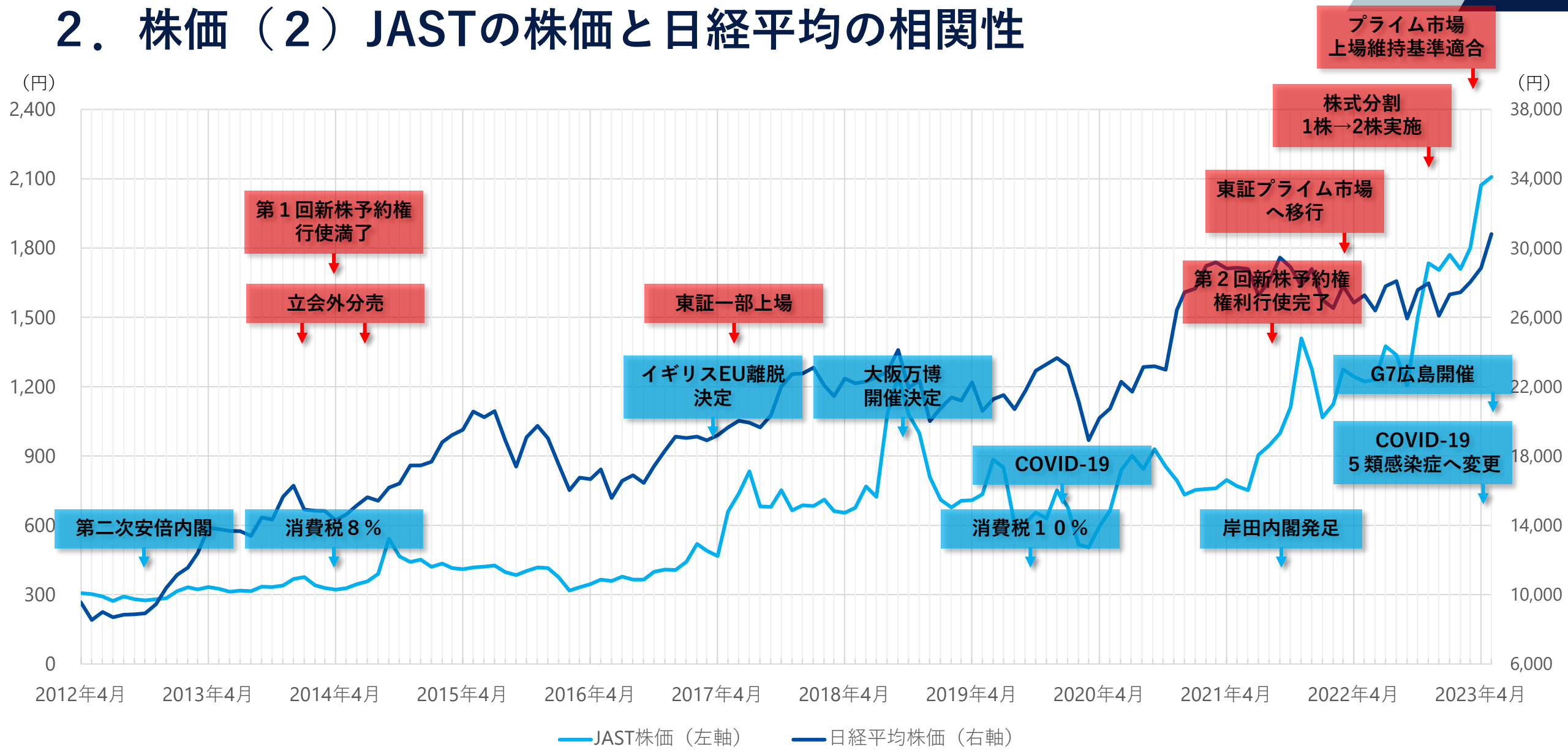


株価情報（2023年６月１日終値）	株価	2,219円	EPS（会予）	153.29円	PER（会予）	14.48倍	PBR	2.53倍

※株式分割（効力発生日：2022年10月１日）以前の株価は遡及修正して表示

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

２．株価（２）JASTの株価と日経平均の相関性

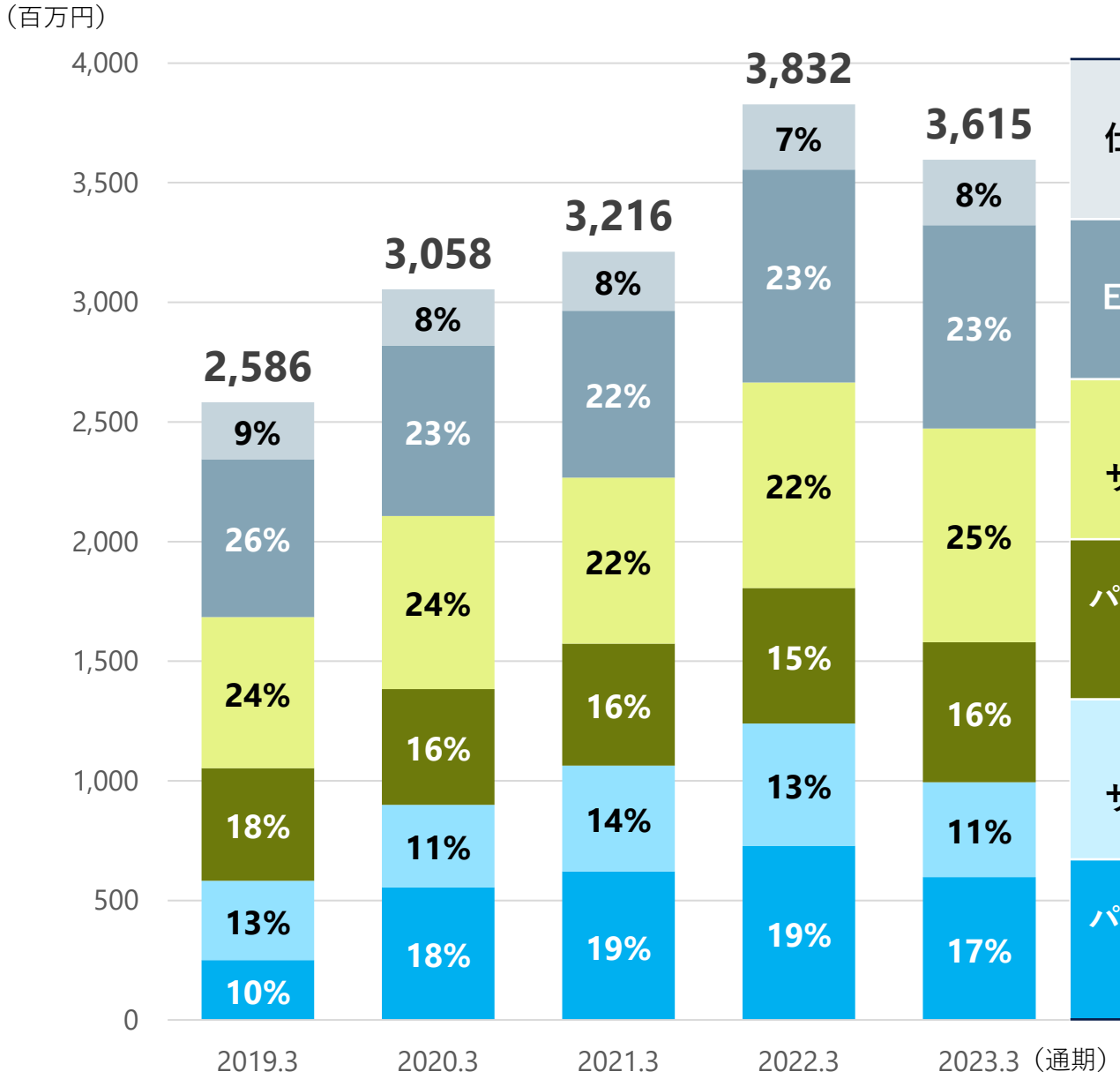


株価情報（2023年６月１日終値）	株価	2,219円	EPS（会予）	153.29円	PER（会予）	14.48倍	PBR	2.53倍

※株式分割（効力発生日：2022年10月１日）以前の株価は遡及修正して表示

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．カテゴリ別業績（1）パッケージ事業ＧＡＫＵＥＮ分野別売上高

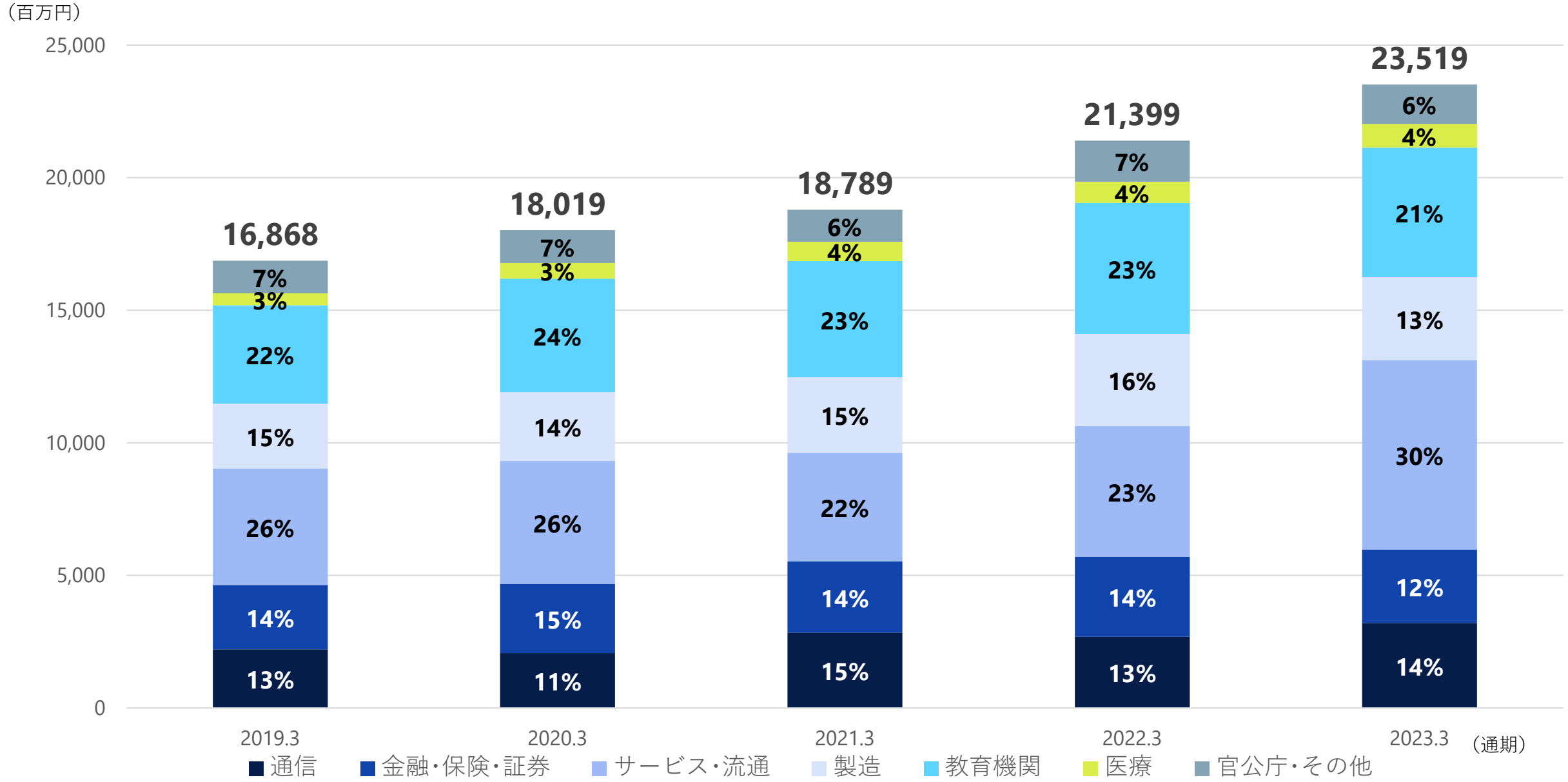


※グラフ上部の数値はGAKUEN事業の売上高合計

凡例	概要	特徴
仕入販売	ハードウェア及び他社商品の仕入販売	• 自社製OEMによる商材充実化
EUC開発	パッケージ販売に伴う個別受託開発	• 高単価SE • 高利益
運用サービス	システムの運用支援	• ストック収益
パッケージ保守	パッケージ製品の保守契約	• ストック収益
導入サービス	パッケージ製品の導入コンサルティング	• パッケージ販売と収益連動 • 非常に高単価
パッケージ販売	パッケージ製品の販売	• 開発投資済み • きわめて高い収益性

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．カテゴリ別業績（2）顧客業種別売上高



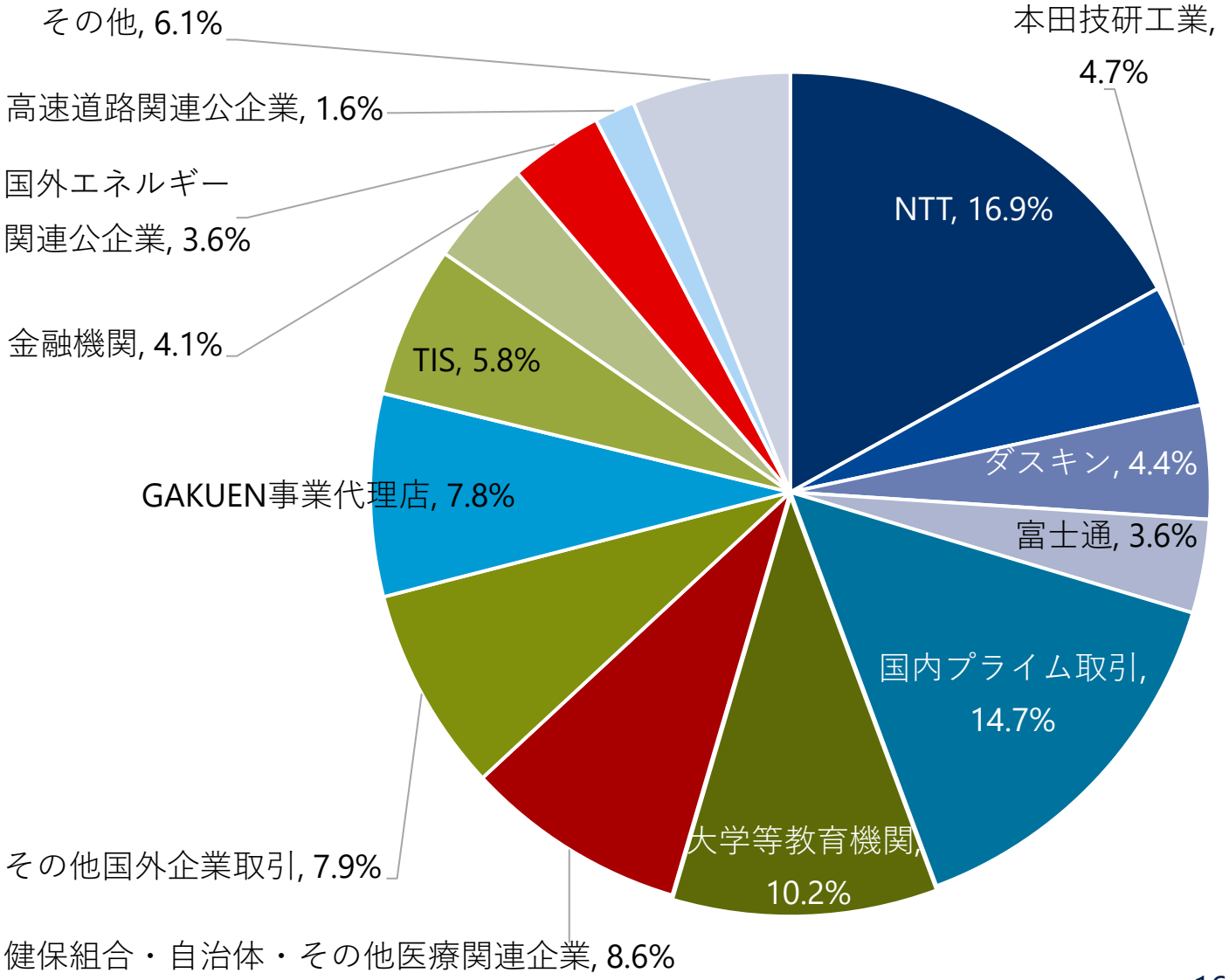
※グラフ上部の数値は連結売上高（連結消去後）

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．カテゴリ別業績（3）顧客グループ別売上高

超長期顧客基盤は維持継続しつつ、事業の多様化に伴い新たな顧客グループを拡大

顧客グループ （〇〇年）は取引年数を示す	2022.3 通期	2023.3 通期
NTT(28年)	15.4%	16.9%
本田技研工業(39年)	5.0%	4.7%
ダスキン(34年)	3.3%	4.4%
富士通(46年)	6.1%	3.6%
上記4社	29.7%	29.6%
国内プライム取引	10.7%	14.7%
大学等教育機関	15.2%	10.2%
健保組合・自治体・その他医療関連企業	7.4%	8.6%
その他国外企業取引	5.2%	7.9%
GAKUEN事業代理店	3.5%	7.8%
TIS	6.2%	5.8%
金融機関	4.0%	4.1%
国外エネルギー関連公企業	4.6%	3.6%
高速道路関連公企業	1.8%	1.6%
その他	11.6%	6.1%
合計	100%	100%



©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

Contents

Ⅰ. 2023.3期 サマリー
Ⅱ. 業績概況
Ⅲ. 2024.3期予想と直近の取り組み
Ⅳ. 長期成長戦略
Ⅴ. Appendix

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．2024.3期の年度方針

全社方針：　迅速果敢な考動と全社横断の共創を原動力に JASTの強みで新たな価値を創出する

DX & SI事業		「アライアンス」×「提案力・交渉力」で高利益追求と規模拡大
パッケージ事業	GAKUEN	「製品強化」×「更なる高収益化」で新たな学修環境の提供に向けた拡大成長
	BankNeo	「新商材」×「他社コラボ」で地域DXへ向けた市場拡張と業績拡大
医療ビッグデータ事業		「シェア」×「サービス」×「アライアンス」の拡大で保険者DXのトップへ
グローバル事業		「商材充実」×「顧客層・地域拡大」×「ガバナンス向上」で業績成長と基盤強化両立
経営管理	財務・IR	企業価値直結の戦術展開でプライム市場でのプレゼンス強化
	人事	各組織の体制・技能強化と健康経営推進でエンゲージメント・パフォーマンス最大化
	R&D	チャレンジングな風土醸成でシーズ発掘・投資活動へ果敢に挑戦
	広報	全社横断の戦略広報で認知度・ブランドイメージを最大化
	サステナビリティ	次世代JASTグループ像に根差した「四方良し」のサステナビリティ経営を推進

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．業績予想（1）業績予想

売上高は13期連続増収、経常利益は９期連続増益を狙う

		2022.3		2023.3		2024.3		対前期比較	
		実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	増減額	増減率
売上高	（百万円）	21,399	100.0%	23,519	100.0%	25,300	100.0%	1,781	+7.6%
営業利益	（百万円）	2,000	9.3%	2,385	10.1%	2,540	10.0%	155	+6.5%
経常利益	（百万円）	2,052	9.6%	2,450	10.4%	2,600	10.3%	150	+6.1%
当期純利益	（百万円）	1,330	6.2%	1,772	7.5%	1,880	7.4%	108	+6.1%

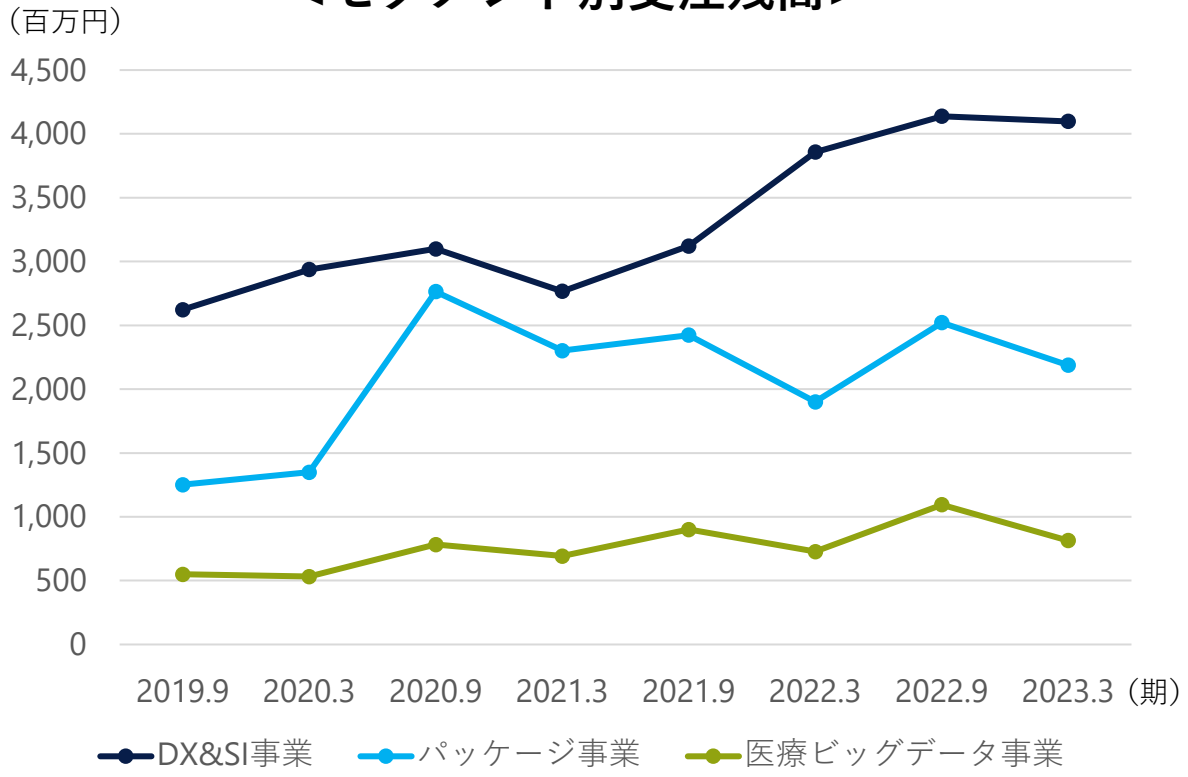
©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．業績予想（2）売上高と受注残高の推移

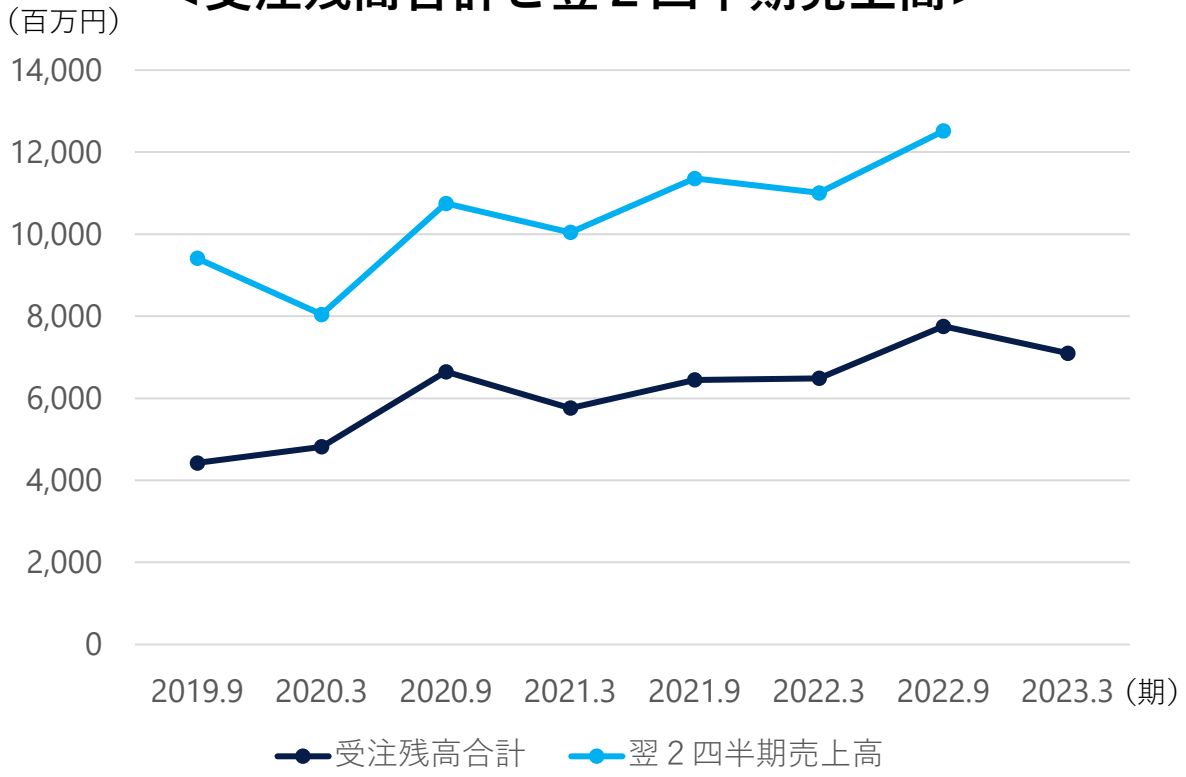
（百万円）

事業/時点	2019.9	2020.3	2020.9	2021.3	2021.9	2022.3	2022.9	2023.3	対2022.3 増減率
DX&SI事業	2,622	2,937	3,099	2,766	3,121	3,857	4,138	4,098	+6.2%
パッケージ事業	1,251	1,349	2,764	2,301	2,423	1,902	2,521	2,187	+15.0%
医療ビッグデータ事業	549	532	782	692	900	727	1,095	814	+12.0%
受注残高 合計	4,423	4,818	6,645	5,760	6,446	6,486	7,754	**7,099**	**+9.5%**

<セグメント別受注残高>



<受注残高合計と翌２四半期売上高>



※グローバル事業は受注残期間が短期である特性上記載を省略

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．業績予想（3）研究開発費

商材開発に加え技術開発・共同研究へ積極投資
多岐のテーマに対し研究開発を継続

（百万円）

	2022.3 通期	2023.3 通期	2024.3 通期予想
DX & SI事業	98	108	↘
パッケージ事業	145	179	↘
医療ビッグデータ事業	81	73	→
その他	110	107	↘
研究開発費合計	436	469	↘

※2024年３月期通期予想の矢印の角度は増減率のイメージ

＜研究開発テーマ＞

DX & SI事業
- メガソリューション強化
- SIビジネスのJASTブランド化

GAKUEN
- RX製品強化
- 周辺ソリューション拡充
- 卒業生への機能拡充
- Z世代学生向け新製品開発

BankNeo
- 営業支援システム強化
- SMART BankNeo製品強化
- 新サービス開発（AI自然言語、顧客との共創）
- 大規模銀行向け新製品開発

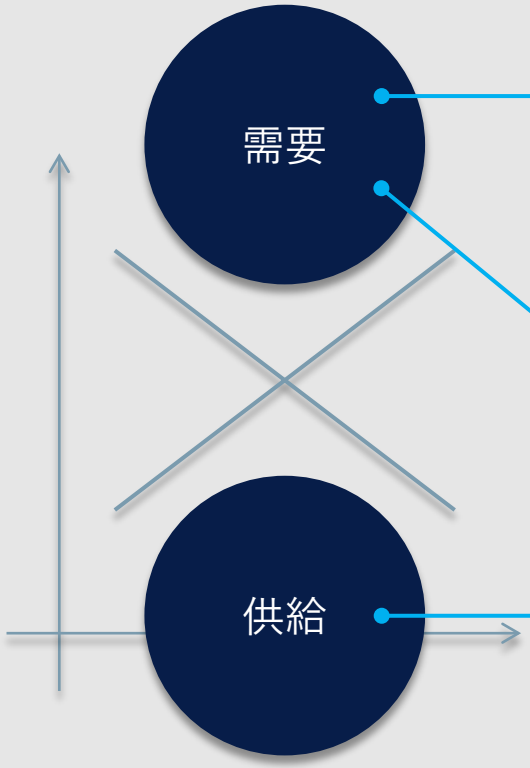
医療ビッグデータ事業
- 医療機関向け製品開発
- iBss機能拡充
- RPA製品開発

その他
- 新商材開発
- 新技術研究
- 産学官共同研究
- 共創型DXによる商材開発

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．企業価値（1）時価総額増大へ向けた当初方針

2021年11月当初の上場維持基準へ向けた以下の方針は
１年前倒しのペースで進展



業績成長
- 売上高３００億円
- 経常利益３０億円

※2026年３月期　中期計画

株価評価指標
- 配当政策
- IR活動の機能強化
- ブランディング戦略(PR活動)

当社株式の市場供給
- 流通株式の供給量増加

EPSの向上 >>>

PERの向上 >>>

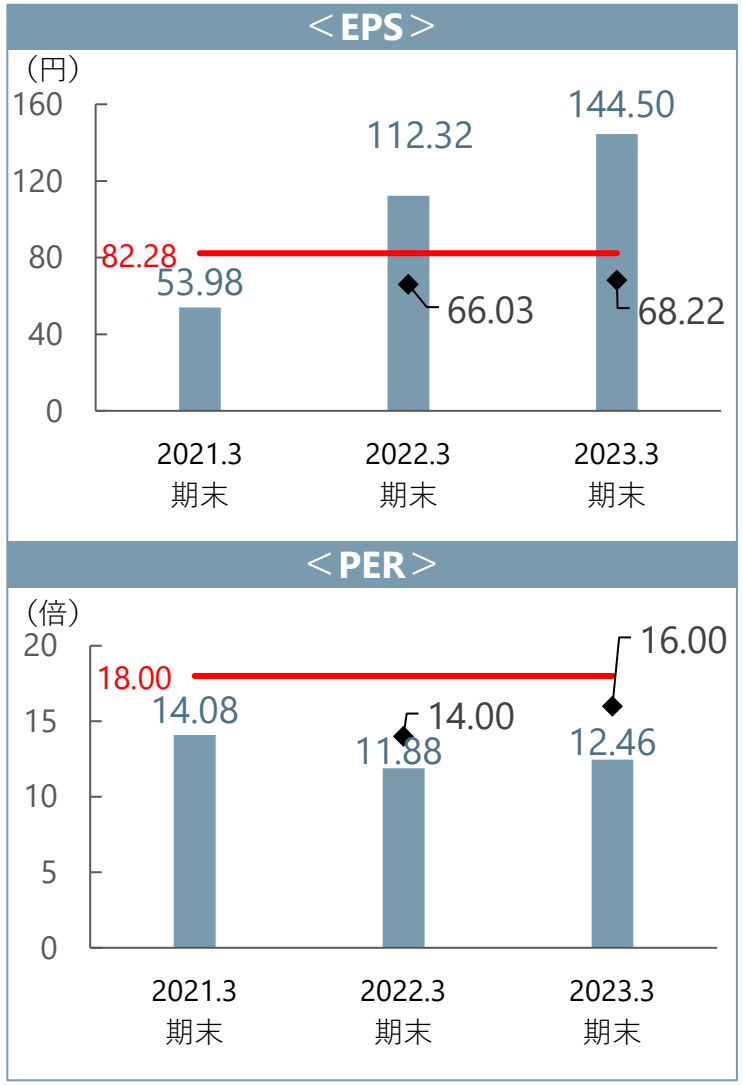
>>> 流通株式比率の向上

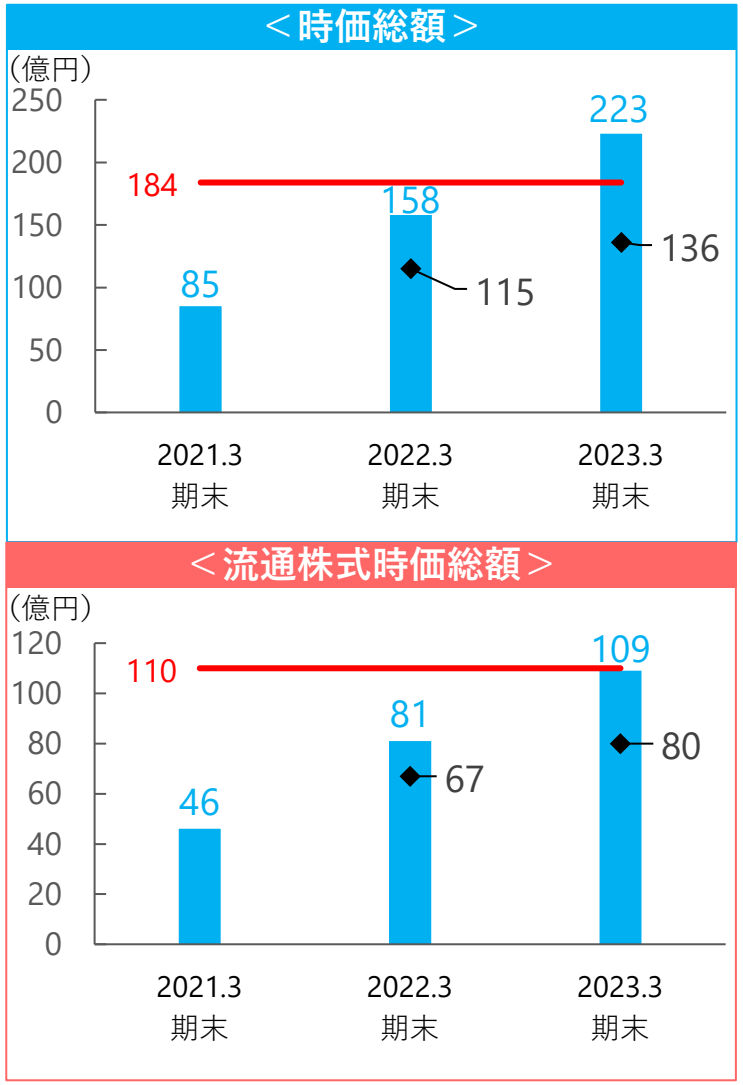
流通株式時価総額の拡大

2021 年 11 月 24 日公開「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」より抜粋

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．企業価値（2）プライム市場基準適合への進捗状況





実績
◆ 当初計画（計画書提出時）
基準達成への目標値

実績
◆ 当初計画（計画書提出時）
基準達成への目標値

時価総額の計画値に１年前倒しで達成
プライム基準に適合

株式時価総額
４００～５００億円に到達し
プライム市場での更なるプレゼンス向上
を目指す

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．企業価値（3）PER向上へ向けた取り組み

企業価値基盤：業績拡大によるEPS及びROEの伸長

＋各種施策による投資家とのリレーション強化

個人・機関投資家への情報発信強化

- 国内・海外の機関投資家との1on1ミーティング
- IRメディア（TV・雑誌）への露出
- 個人投資家対象の説明会を開催

⇒接触・露出機会増加による認知度向上

DXプロバイダとしてのブランディング強化

- DXイメージの打ち出し
- WEBサイトの更改
- 報告セグメント変更によるDX事業への注力
- プレスリリースの強化

⇒個人・機関投資家の好感度向上

IRグローバル化

- 各種英文開示の充実化
  ⇒・決算短信 ・プレスリリース
  ・決算説明会資料 ・WEBサイト

⇒日本株への影響力が増大している海外機関投資家へのアプローチを強化

株式取引の流動性向上及び売買活性化

- 株式分割の実施
- 利益成長に応じた配当施策

⇒JAST株式の魅力向上による市場売買の活性化

今後の重点取り組み

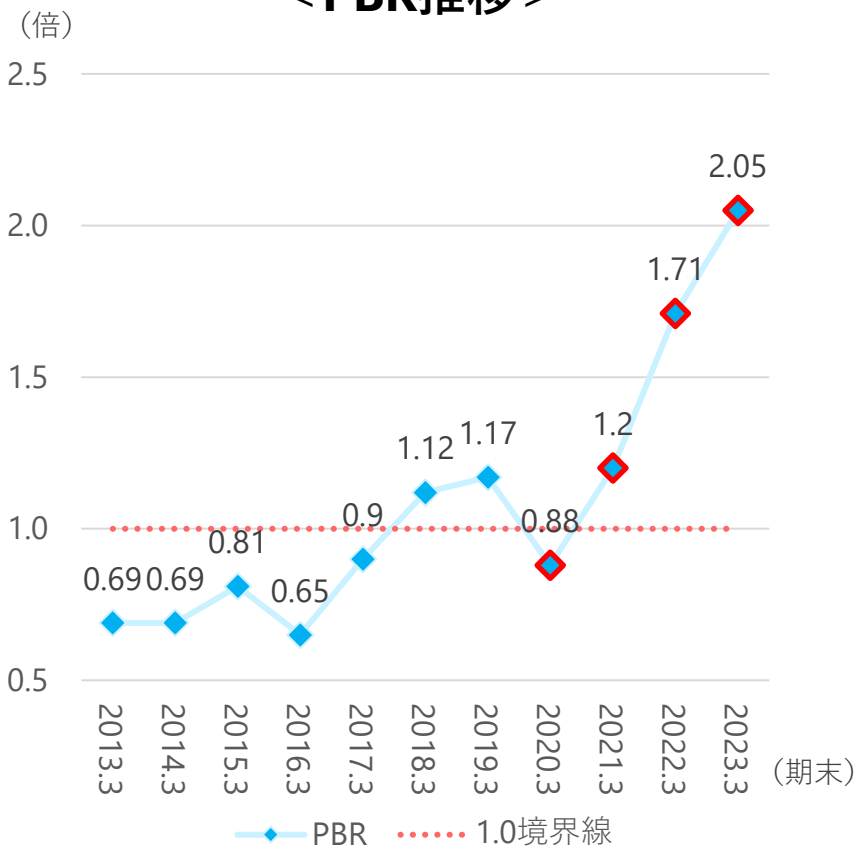
- 配当政策を含む株主還元施策の強化
- 非流通株式の流通化
- 更なる広報強化による一般認知の拡大
- サステナビリティ関連の発信強化

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

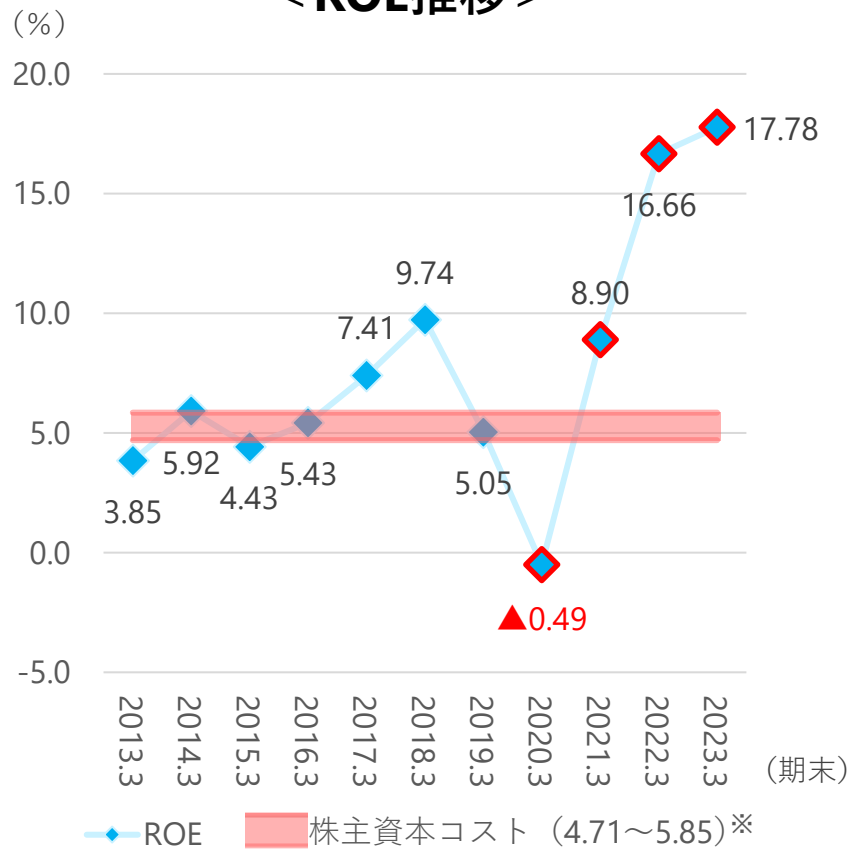
3．企業価値（4）企業価値向上に関する認識

PBRは安定的に1.0超で拡大基調
エクイティスプレッド※を意識した経営により更なる上昇を継続していく

＜PBR推移＞



＜ROE推移＞



エクイティスプレッドの正負とPBRは連動

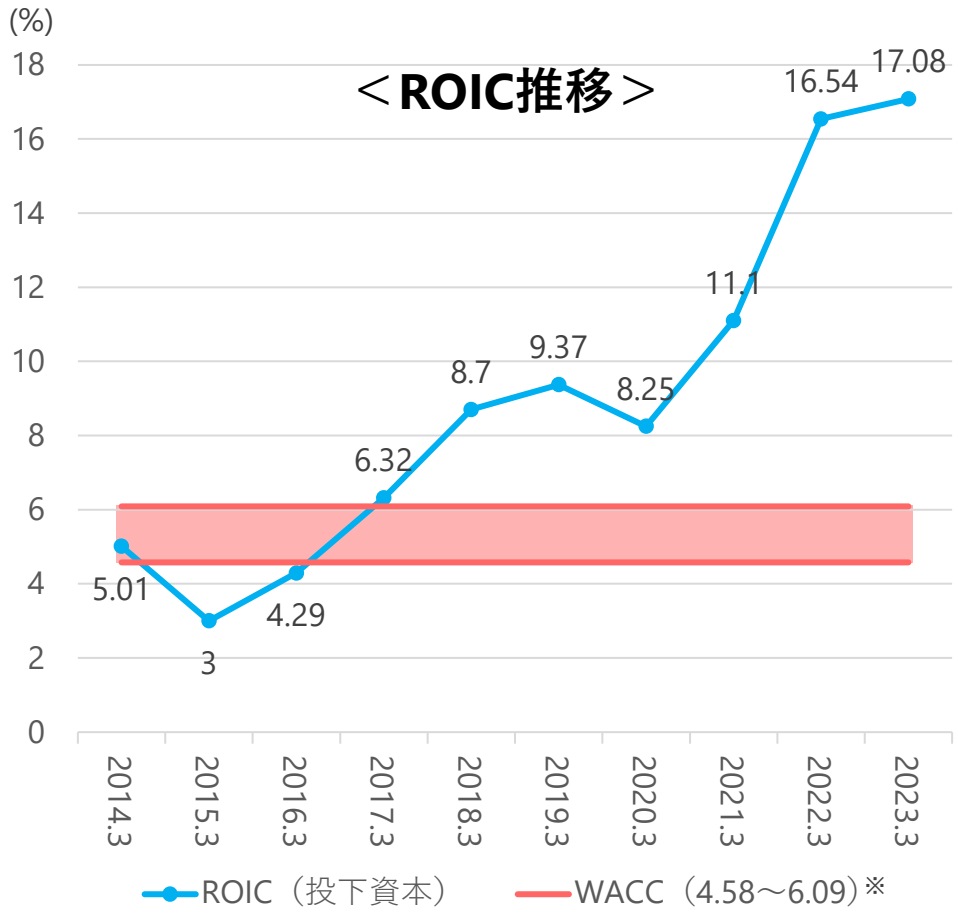
株主資本コストを上回るROE
を創出し続け、
高PBR企業として拡大

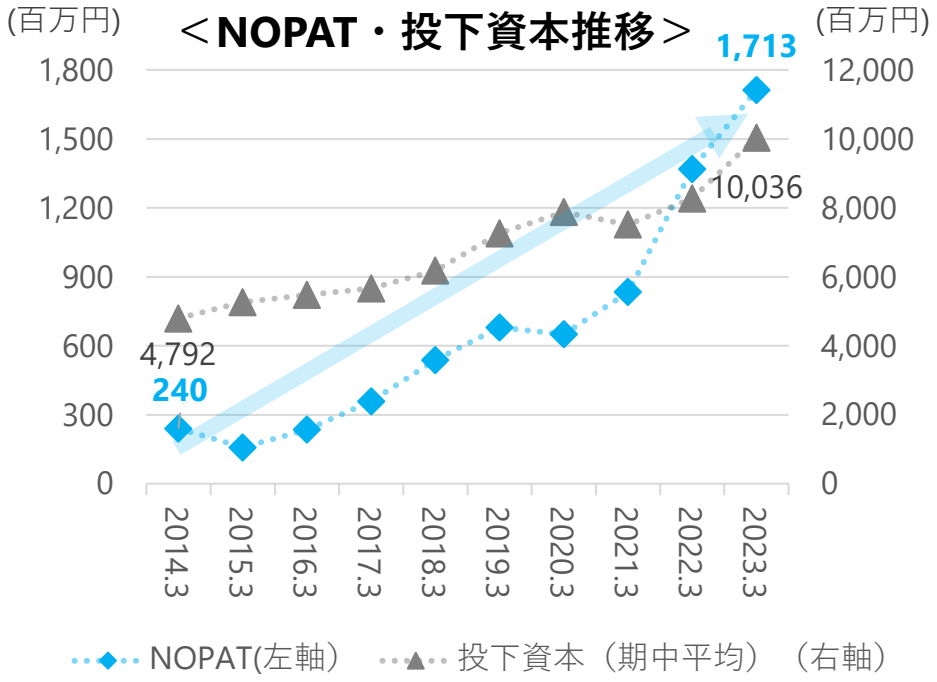
※エクイティスプレッド：ROE－株主資本コストで算出、当値が正であれば株主価値を創出しているといえる
※株主資本コスト：リスクフリーレート＋β（感応度）×エクイティリスクプレミアム
なお、リスクフリーレートは2023/3/31の国債10年金利(0.322%)、エクイティリスクプレミアムはSPEEDAよりヒストリカル・リスクプレミアムの過去50年期間数値(5.45%)を使用
β値は株価(配当込)とTOPIX(配当込)の過去データを用い右式にて修正(修正β＝2/3×β+1×1/3)、15年間・10年間・5年間の３パターンから上限・下限を試算

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．企業価値（5）ROICの継続的向上

利益成長速度が投下資本の拡大速度を上回り10期で約12ポイントの向上
EVAスプレッド※はプラス推移





2014.3期末-2023.3期末CAGR（10期）	
NOPAT	投下資本（期中平均）
24.4%	8.6%

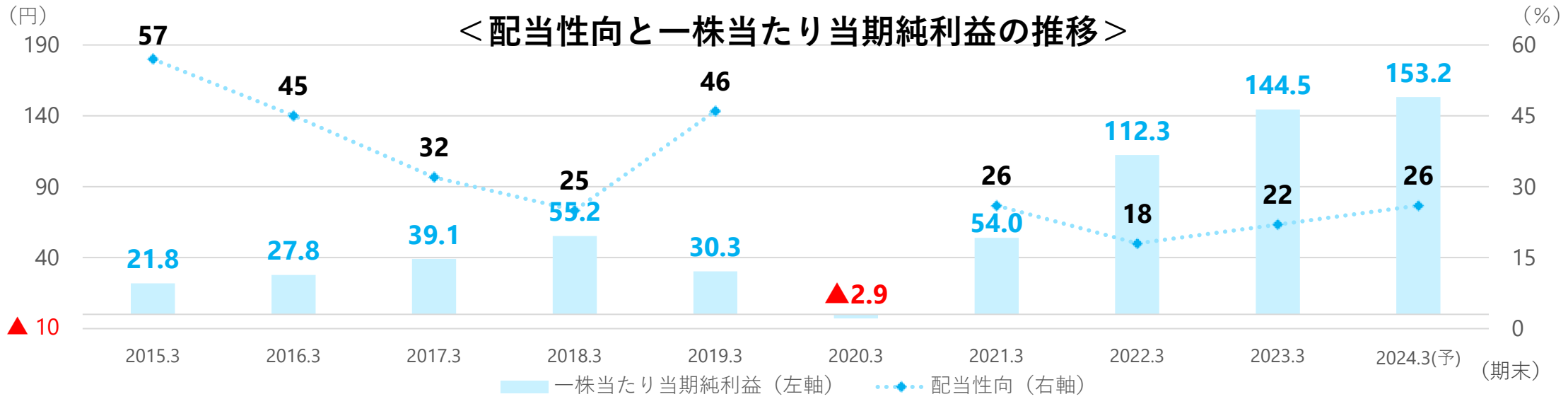
※EVAスプレッド：ROIC（投下資本）－WACCで算出、当値が正であれば株主及び債権者の要求コスト（WACC）を上回る経済価値を創出しているといえる
※WACC：有利子負債÷（時価総額（自己株式控除後）＋有利子負債）×（１－実効税率）×負債コスト※＋時価総額（自己株式控除後）÷（時価総額（自己株式控除後）＋有利子負債）×株主資本コストにて算出
※負債コストは自己資本及び自己資本比率が同水準の複数の上場企業の中央値を使用

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．企業価値（6）株主還元

		2022.3期 実績	2023.3期 実績	対前期比較 増減	対前期比較 増減比	2024.3期 予定
1株配当金	（円）	20	32	+12	+60.0%	40
期末配当利回り	（%）	1.6	1.8	+0.2	-	–
期末株主数	（人）	2,699	2,572	▲127	▲4.7%	–
期末時価総額	（百万円）	15,833	22,353	+6,520	+42.3%	–

※３月期の数値はそれぞれ通期の業績数値
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示



©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

Contents

Ⅰ. 2023.3期 サマリー
Ⅱ. 業績概況
Ⅲ. 2024.3期予想と直近の取り組み
Ⅳ. 長期成長戦略
Ⅴ. Appendix

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1． JAST流DX構想

本業・経営管理のDX推進活動を余さず活用し、事業発展・生産性向上・市場価値向上の循環構造を作る

New Normal社会
- ワークイノベーション
- 価値観の変化
- 5G/6G、Society 5.0

資本市場
- SDGｓ/TCFD/ESG
- 企業のあり方に関する意識の変化

TCFD

産業界
- 2025年の崖
- デジタル庁
- 関係法整備

社会・生活のDX化

GAKUEN RX GAKUEN SERIES / JMICS / BankNeo / mieHR / Office DX

本業DX
- DX＆SI事業：**共創DX**
- ＧＡＫＵＥＮ事業：**文教DX**
- ＢａｎｋＮｅｏ事業：**金融DX**
- 医療ビッグデータ事業：**医療DX**
- 新規/派生事業：**共創DX**等

社内活用 →
← 商材化

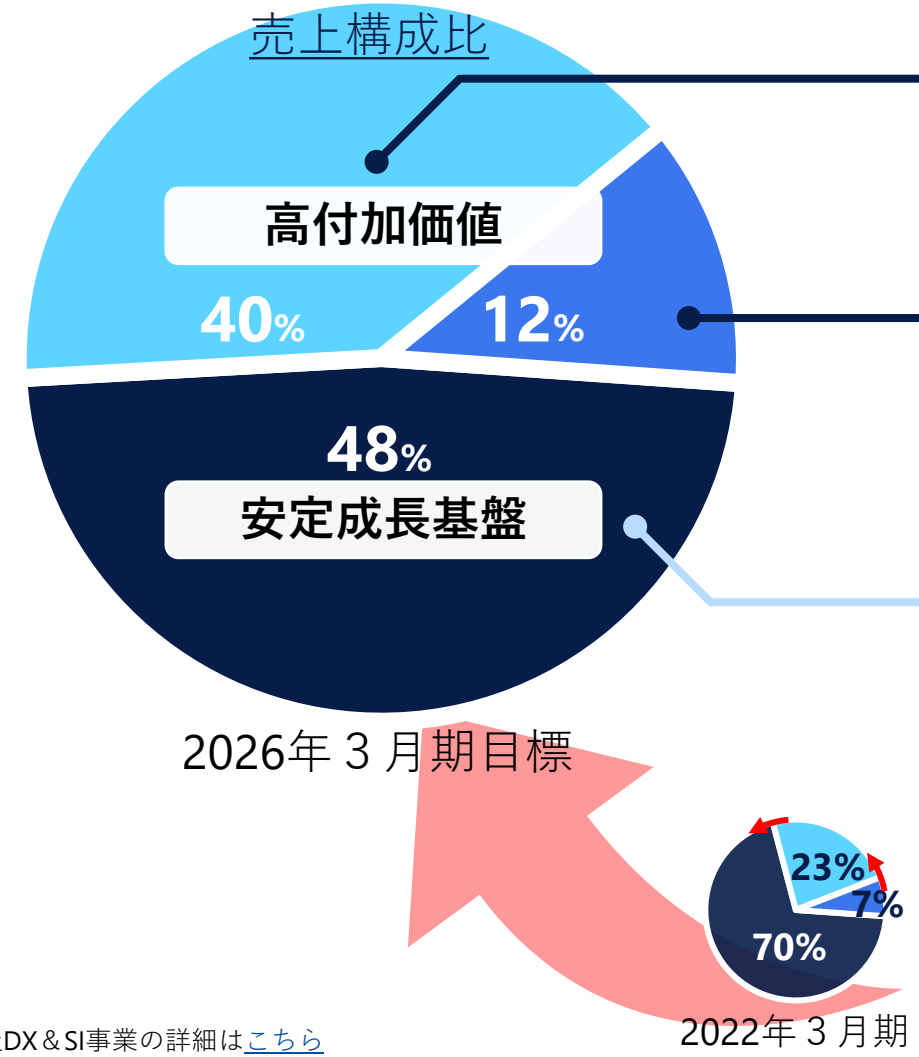
経営管理DX
- データ利活用による**健康経営**
- New Normalを先導する**オフィスDX**と**ワークスタイル整備**

市場価値CI
- 東証プライム市場への**完全定着**
- SIerから「**未来を、仕掛ける。**」**DXer** へ
- **サステナビリティ**への取り組み

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（1）DX＆SI事業　戦略概要

事業ポートフォリオを再定義し、安定成長基盤の維持拡大と高付加価値ビジネスの推進を両立



サービス

- データ収集・利活用・分析支援
- クラウドを活用した基盤構築から運用保守までワンストップで提供

ソリューション

- 新規ビジネス立ち上げ
- 高粗利大規模ビジネスの構築
- SAP※1/SFDC※2等メガソリューションビジネスを展開

ＳＩ

- 最大売上基盤として、既存顧客を中心としたSIビジネスの維持及び拡大
- 最小限の上級SEで推進可能なSIプロジェクトの仕組みを構築
- 新たなブランド商材の創出

顧客DXに伴走

- 企画推進のコンサルティング
- ビジネスエコシステムの構築

SIビジネスのJASTブランド化

50年間培った開発手法・フレームワークをJASTメソッドとしてブランド化し、**高付加価値化・市場競争力強化**

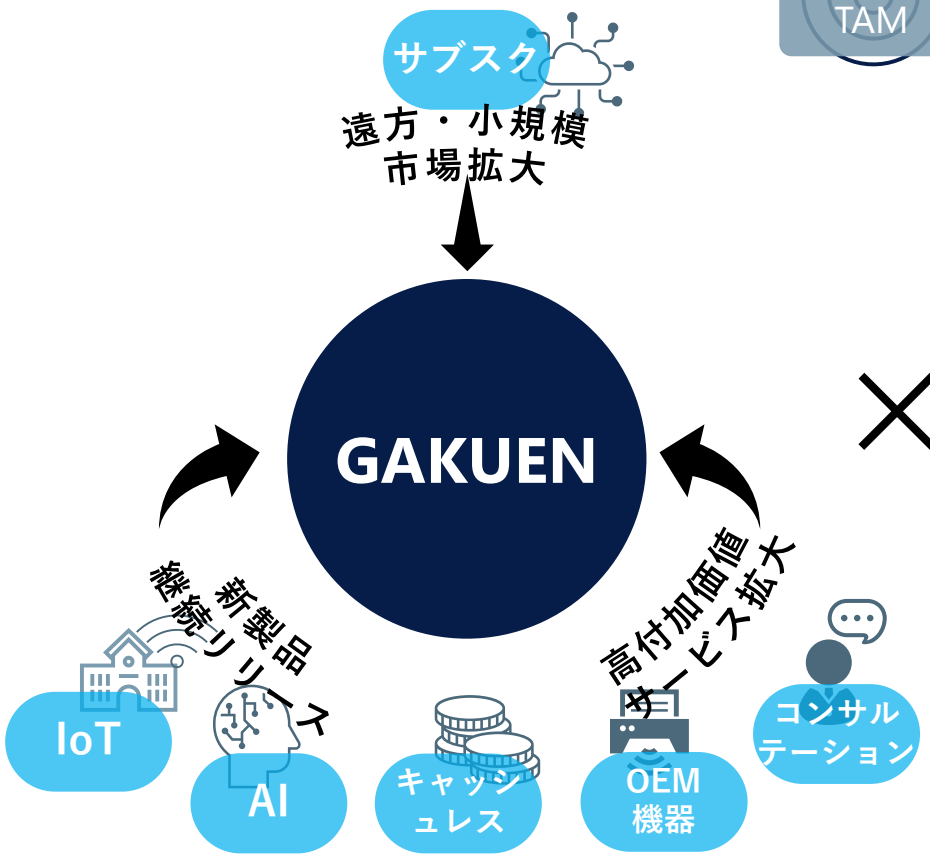
弊社DX＆SI事業の詳細はこちら

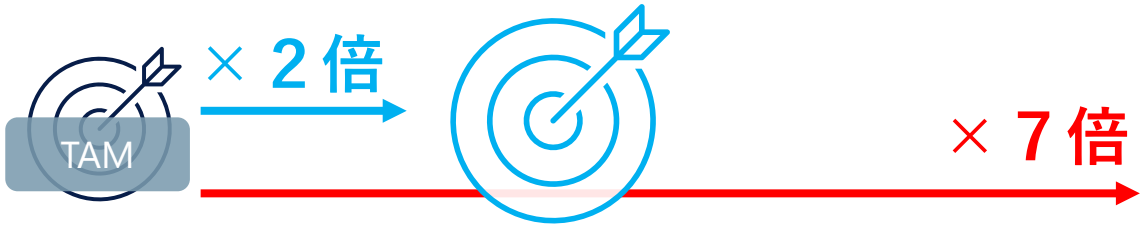
※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（2）パッケージ事業：GAKUEN　戦略概要

トップブランドとしての基盤を土台に、新規サービスで対象市場を拡大する





×

- JAST-X-Tech（JASTブランド横断ソリューション）
- プラットフォームビジネス
- データ利活用ビジネス
- アライアンス拡大
- 事業領域拡大（卒業生、社会人、初・中等教育）

- 生涯学習
- マーケティング支援
- 教育
- 出版・メディア
- 地域サービス

DX技術を駆使した現有ビジネス拡大による安定的業績成長

新規ビジネスによる次世代GAKUENの土台形成

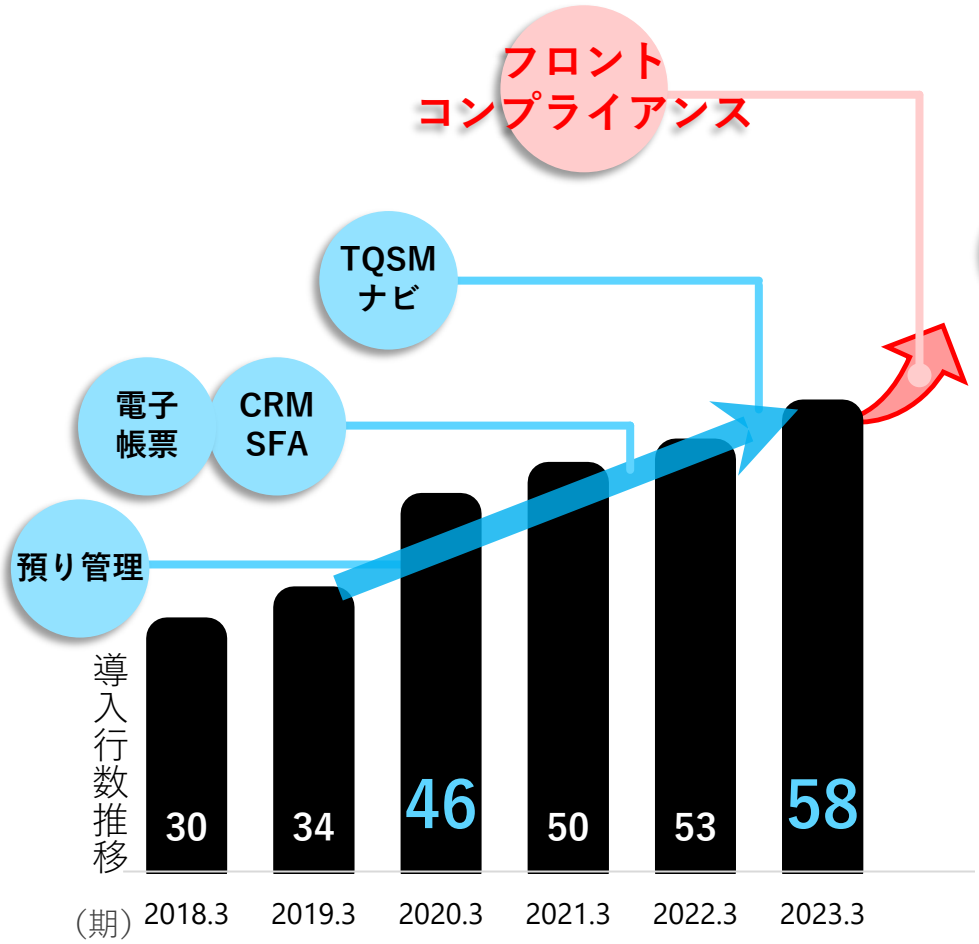
ITにとどまらないサービスへ展開

弊社GAKUENシリーズの詳細はこちら

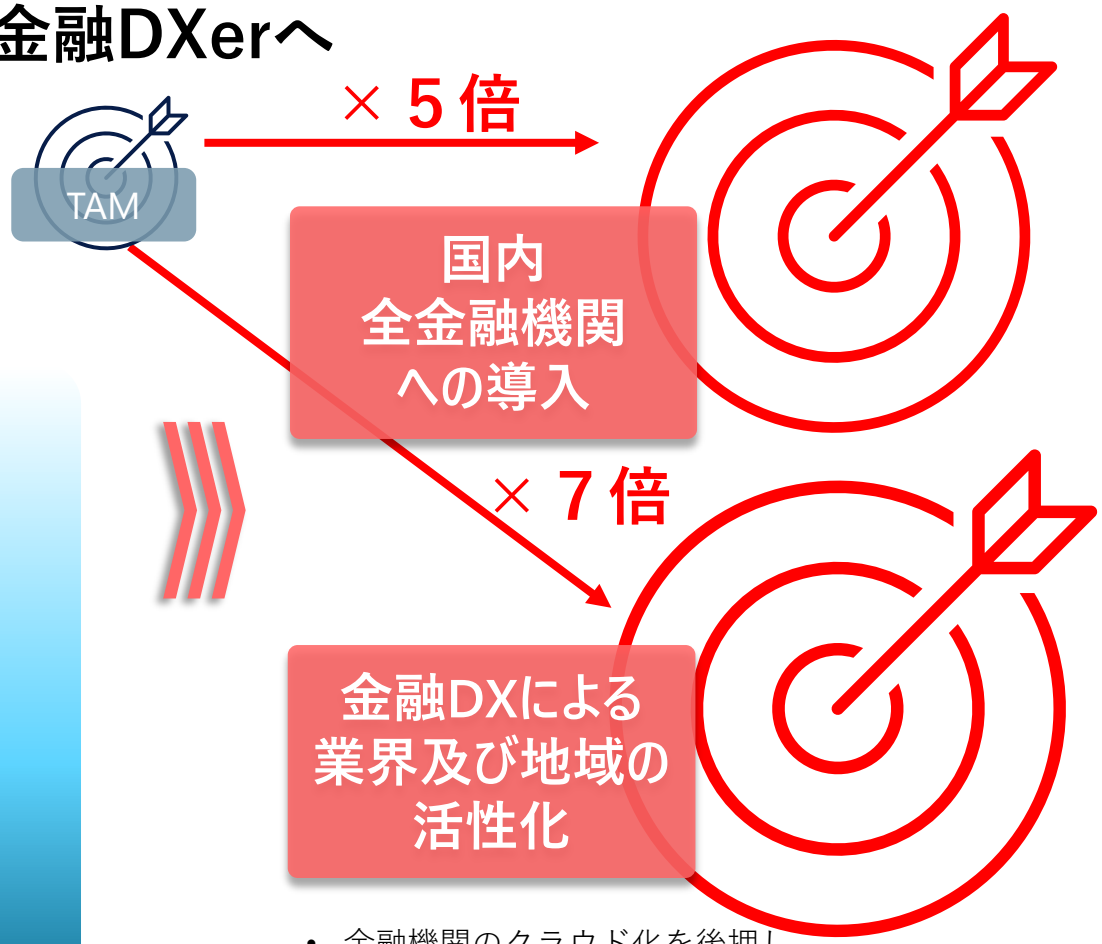
©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（3）パッケージ事業：BankNeo　戦略概要

スマート/ニッチ/クラウドをコンセプトに新規ソリューション継続リリース
独自商材で対象市場を拡大し、地域に貢献する金融DXerへ



- 協業による販路拡大
- SMART BankNeoの機能拡張、拡販
- 非対面チャネル、事務効率化機能強化



- 金融機関のクラウド化を後押し
- 既存ユーザとタイアップし新製品を企画
- 営業支援・CRMの導入やデータ利活用で、地域特性/課題に沿った銀行のビジネス変革を支援

弊社BankNeoシリーズの詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（4）医療ビッグデータ事業　戦略概要

圧倒的レセプト処理数と高付加価値のビッグデータビジネスを武器に保険者DXのトッププレイヤーへ

JMICS
レセプト
自動点検システム

×

iBss
保険者業務
BPR/BPOシステム

- 全保険者対応型点検モデルの完成
- データ分析、保健事業コンサルティング強化

- 商材ラインナップ拡充
- 認知・ユーザ数拡大
- プラットフォーム化

国内トップ
データプロバイダ

国内トップ
保険者プラットフォーム

保険者DX のトッププレイヤーへ

データ利活用の ビジネスモデル構築

新サービス・市場 拡大

M&A/アライアンス

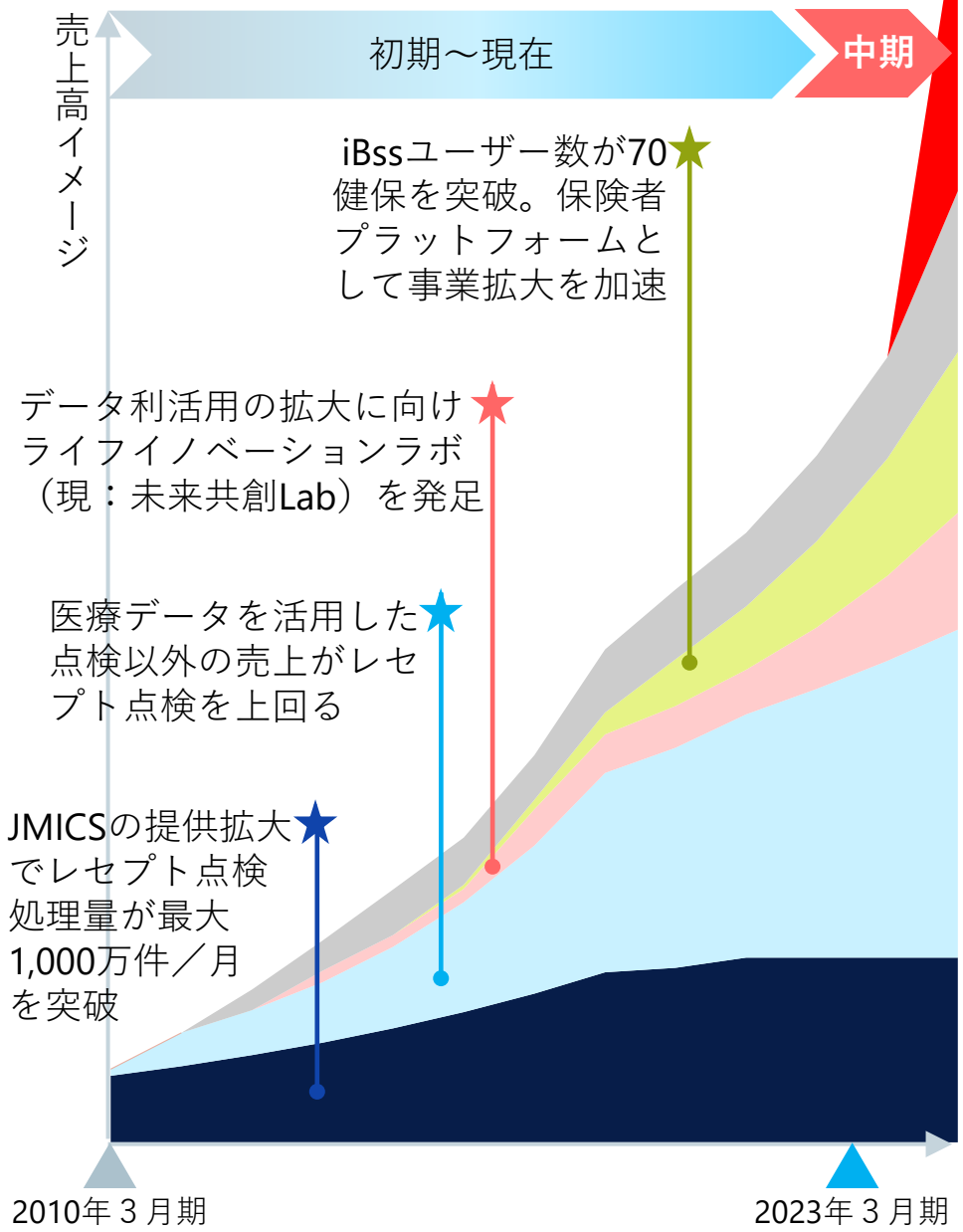
総合医療DXサービスへ進化

- 健康経営
- 製薬業界/医療機関
- D2Cビジネス　etc.

弊社医療ビッグデータ事業の詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（５）医療ビッグデータ事業　中期の事業拡大



中期成長テーマ

Newビジネス M&A → **既存＆次期サービスのシナジー創出による事業拡大の加速**

- ✓ データ基盤（量・質・範囲）の拡大
- ✓ データを起点としたサービス拡充（ウェアラブルツール、PHR等）
- ✓ 人的リソース・専門性の増強

その他

iBss → **保険者プラットフォームの確立**

- ✓ システム＆ＢＰＯという差別化ポイントの深耕
- ✓ 加入者向けWEB機能の充実化による隣接市場へのサービス展開

データ利活用 → **データ範囲の拡張とアライアンスによる収益基盤化**

- ✓ データ事業者を中心とするアライアンス拡大
- ✓ RWD新ビジネスに向けたデータ範囲の拡大

データヘルス → **「人材拡充」×「AI活用による脱属人化」**

- ✓ 第３期データヘルス計画の商機獲得
- ✓ その後の成長を加速する組織規模拡大×AIによる効率化

レセプト点検 → **JMICSの完全自動化・全保険者対応型による点検ビジネスの完成**

- ✓ マーケットトップクラスのデータ保有を実現し国内トップのレセプトデータプロバイダに

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（6）未来共創Lab（JAST Lab）

JASTの保有するデータを活用し、アカデミア等との共同研究を通じた社会貢献と他社との商材開発による事業化シーズ発掘を目指す

◆ 提供サービス

1）Medical Data PROVISION：MDP

メディカルビッグデータを用いたDX活動及び研究推進用パッケージ

MDP

メディカルビッグデータ
REZULT

セキュアな研究環境
Labルーム

データ分析・提案
JASTデータアドバイザー

2）REZULT

JAST保有のメディカルビッグデータを直感的に利用可能としたデータセット

JMICS
JAST Medical Insurance Checking System

iBss

患者数
800万人以上
レセプト件数
3.9億件以上

✓ 匿名加工
✓ 統計化処理

REZULT

弊社JAST Labの詳細はこちら

◆ 共同研究先 [2023.3下期以降開始]

大阪公立大学大学院生活科学研究科 [2023.3.29]

東大大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター臨床医工学部門
岡田寛之 助教 [2023.1.5]

＋**他10件**の共同研究が進行中

◆ アウトプット [2023.3下期以降]

「**内閣官房COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクト**」[2023.1.5]

テレビ朝日「**大下容子ワイド！スクランブル**」 [2023.01.16]

DEIM2023にて筑波大学関研究室より論文発表[2023.03.16]

JAST Lab HP, Tableau Publicで**ダッシュボード無償公開開始**[2023.4.13]

TableauPublicでのデータ無償公開はこちら

◆ データ提供先 [2023.6.9現在]

一般社団法人
オルタナティブデータ推進協議会

内閣官房　COVID-19
AI・シミュレーションプロジェクト

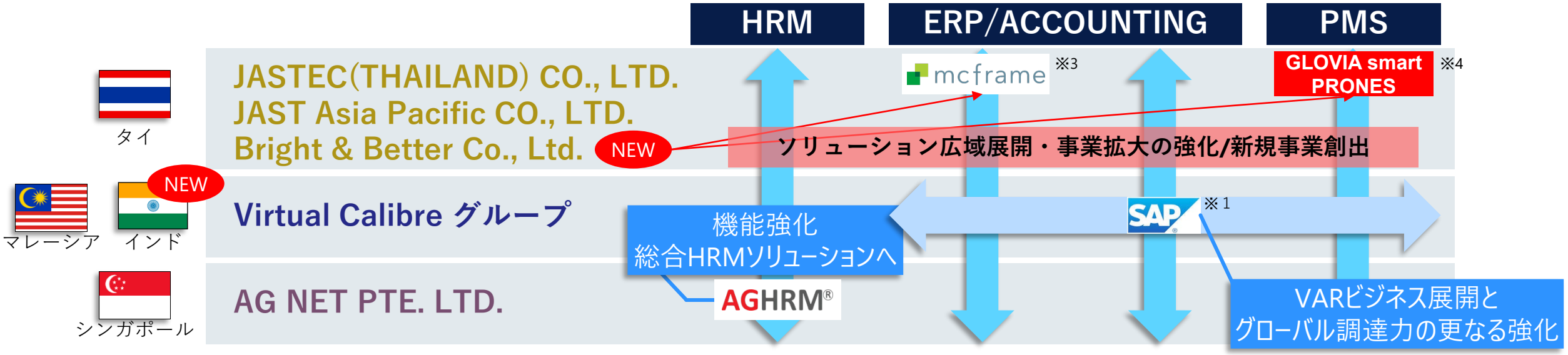
国立情報学研究所
情報学研究データリポジトリ(IDR)

AWS Data Exchange/
AWS Marketplace

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（7）グローバル事業

デジタル先進国化に向け DX 市場が急成長にあるインドに拠点を設立
ASEAN＋南アジア・中東圏へSAPビジネスを拡大しグローバル成長を加速させる

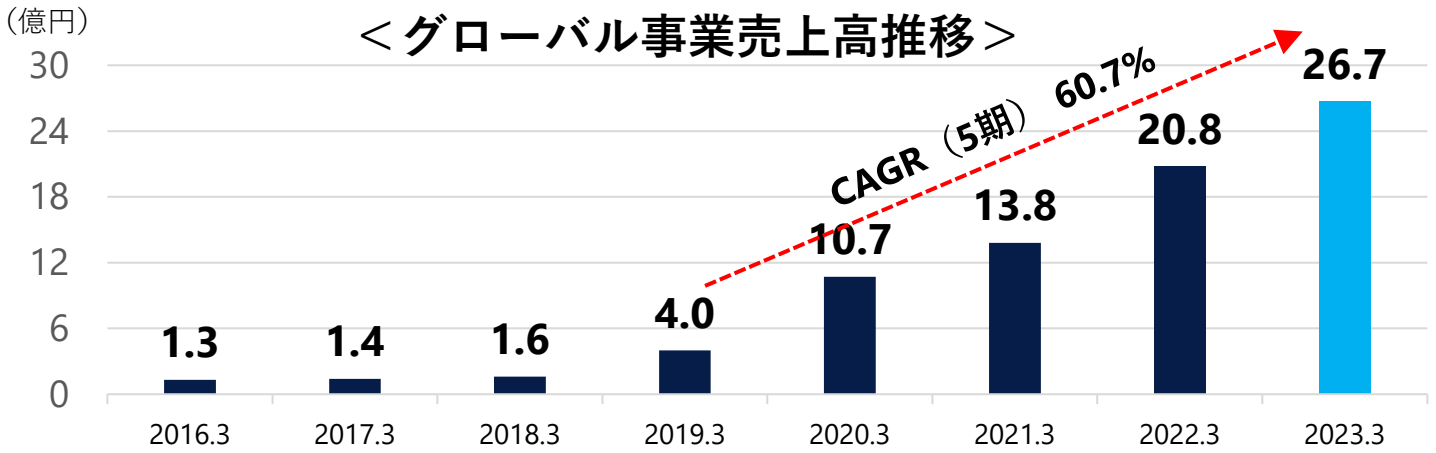


中国

桂林安信軟件有限公司

中国国内向け事業

- SI 開発
- ASEAN 商材連携
- アライアンスを活用した新製品開発/販売

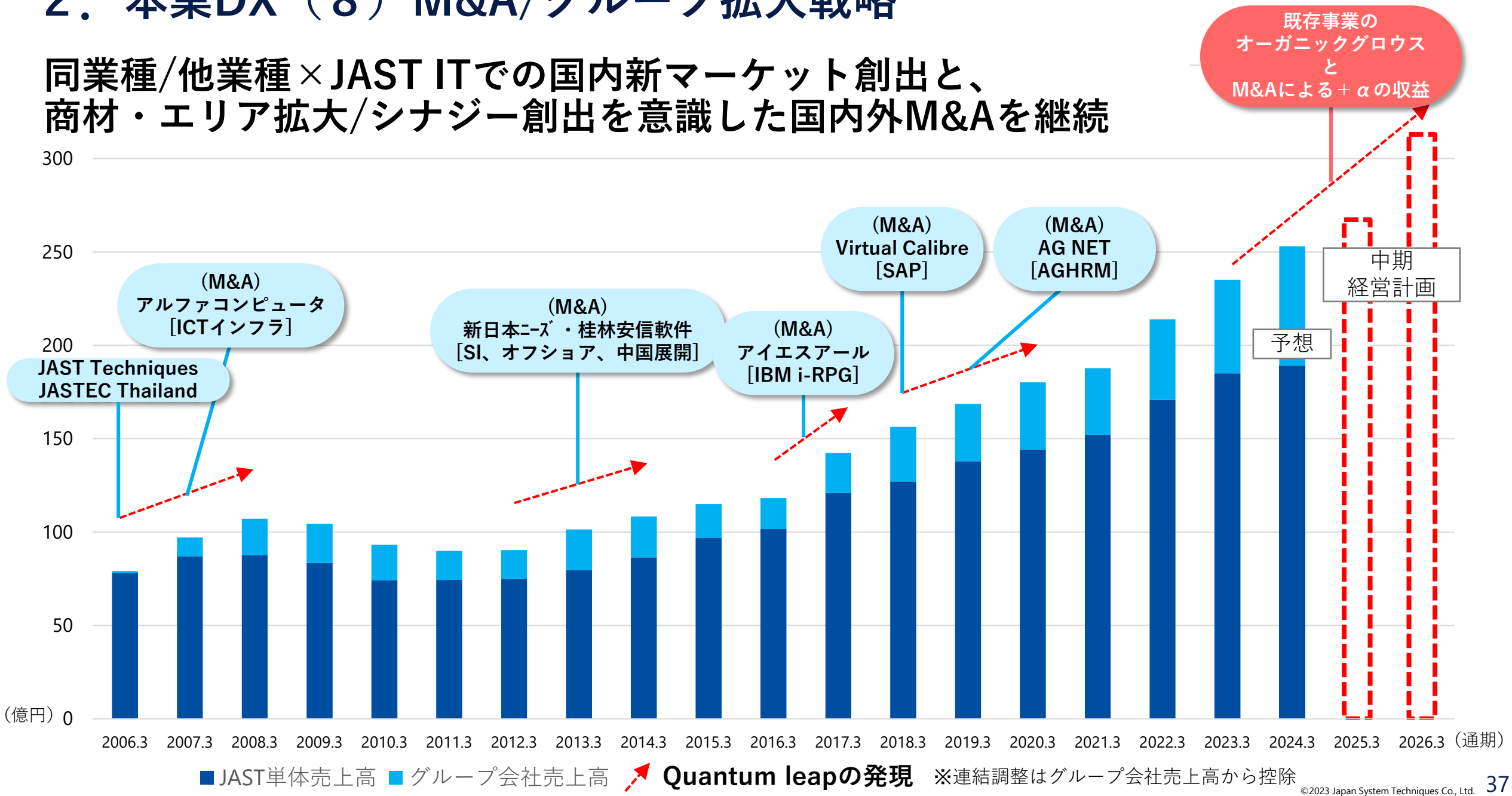


※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（8）M&A/グループ拡大戦略

同業種/他業種×JAST ITでの国内新マーケット創出と、商材・エリア拡大/シナジー創出を意識した国内外M&Aを継続



※連結調整はグループ会社売上高から控除

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（9）新領域への適応とアライアンス戦略

ターゲットとなる新領域は多方面にわたる。積極的な研究開発とアライアンス戦略で次なる成長ドライバを加速的に生み出していく

	ビッグデータ データサイエンス	NewNomal DX	ブロックチェーン フィンテック	AI、生体認証、VR	クラウド
DX & SI事業	✓ データサイエンス案件の拡大	✓ ECサイト構築　✓ SAP※1 ✓ mieHR（HRM）	✓ MaaSデータプラットフォーム	✓ Office DX －顔認証打刻－	✓ SI開発での適用拡大 ✓ SAP※1
		✓ オフィス・キャッシュレス決済			
BankNeo （パッケージ事業）	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ 預り管理　✓ 電子帳票 ✓ 営業生産性向上支援 非対面/事務効率機能強化		パッケージ機能への適用	✓ 「SMART BankNeo」
GAKUEN （パッケージ事業）	✓ 経営意思決定支援(BI) ✓ IR 教育ビッグデータ	✓ スマホアプリ ✓ E-learning ✓ 教科書選定DBとの連携	✓ 学内電子マネー ブロックチェーン活用	✓ パッケージ機能AI化 パッケージへの追加適用	✓ GAKUEN サブスクリプション
医療ビッグデータ事業	✓ 月間レセプト処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大 ✓ メディカルビッグデータサービス「REZULT」	✓ Webサービス「iBss」 ✓ 重症化予想モデル BtoBtoC商材		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レセプト処理のAI化	✓ クラウド版 レセプト点検
グローバル事業		✓ SAP※1　✓ mcframe※3			✓ AGHRM　✓ SAP※1
・アライアンス ・社内ベンチャーによる新規事業創出	✓ 共創DXサービス「MDP」 ✓ 産学官連携 ※未来共創Lab	Z世代学生向け新サービス ※パッケージ事業		自然言語処理の事業活用 ※DX&SI事業	

✓　現業領域・施策　　**JASTブランド**　　計画中・開発中領域

※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．本業DX（10）人的資本を高める活動

健康経営推進

健康経営優良法人（大規模法人部門）
3 年連続認定

長時間勤務撲滅
JAST独自労務施策
「カエル！JAST」

ストレスチェック受検促進
受検率 90 %以上の継続
（2023.3通期実績93.2%）

勤怠データ分析による
心身高リスク者ピックアップ＆フォロー

健康教育の充実

① **集団教育研修**
- 健康管理研修
- 女性活躍支援フォーラム

② **健康イベント**
- 「ウォーキングイベント」
- 「機能改善ストレッチ講習」
- 「卒煙イベント」

③ **産業医・保健師との個別面談**

定期健康診断・人間ドック受診促進

① **定期健康診断受診率**
100 %の継続

② **再検査受診率**
100 %
へ向けた取り組み継続
（再検査受診率：2023.3通期実績84.6%）

DX人財育成

SAP※1認定資格者数
取得資格総計 209
資格取得者 82 名
（2023年４月末時点）

DX人財開発集合研修
10 カテゴリ
143 コース
（2023.3通期実績、開催日数）

社内認定資格「JCPL」
初級 528 人
中級 105 人
（2010.3～2023.3期 認定取得者数累計）

DX関連外部e-Learning受講キャンペーン
10 カテゴリ
19 コース
（2023.3通期実績）

JCPL：JAST Certified Project Leaderの略。
JAST流プロジェクトマネジメントにおける社内独自の認定資格

更なるホワイト化推進

平均年次有給休暇
取得率 66.3 %
取得日数 10.8 日
（2023.3通期実績）

平均残業時間
（月平均所定外労働時間）
17.6 時間
（2023.3通期実績）

育休取得者
28 人
うち男性 7 人
（2023.3通期実績）

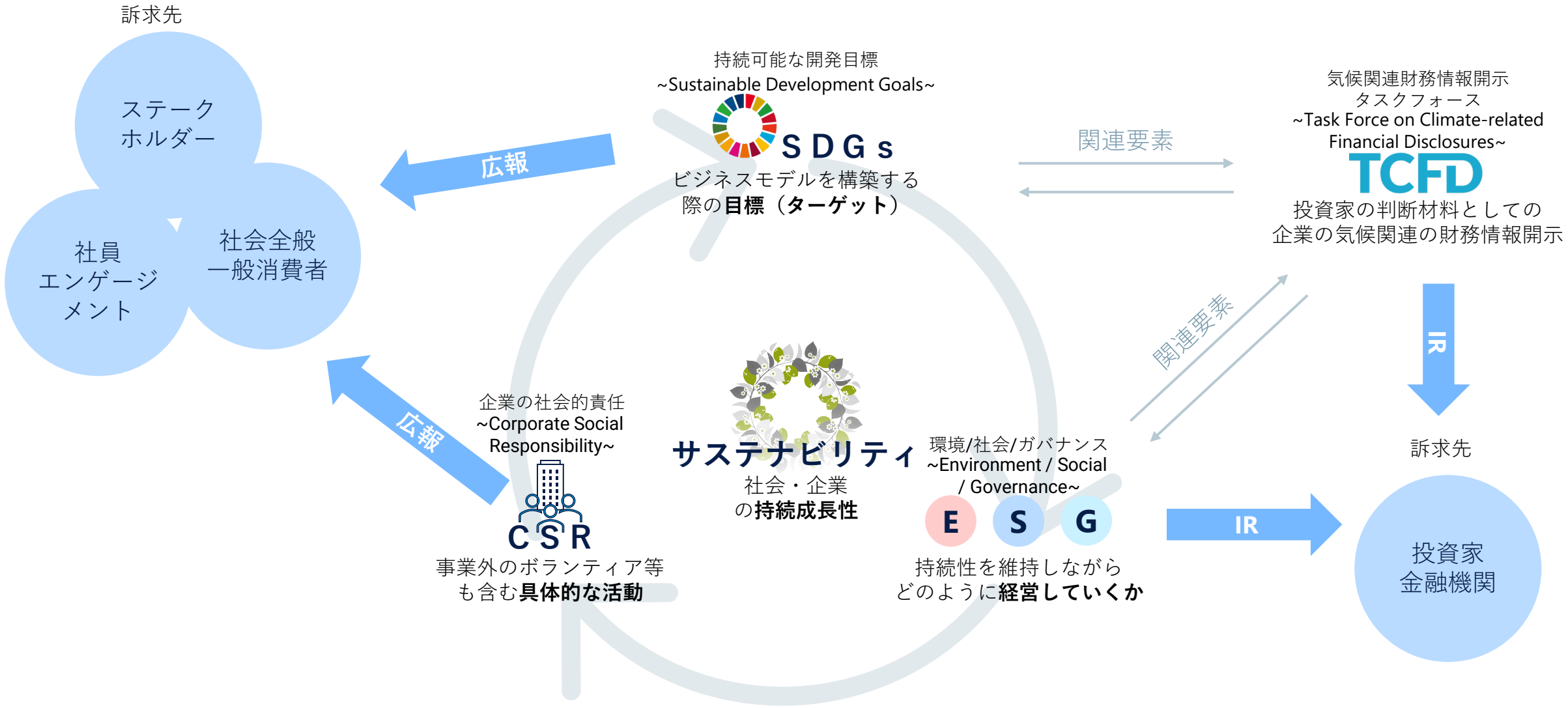
育休明け時短勤務
最長 9 年
（法定の 1.5 倍）

弊社の健康経営推進の詳細はこちら
※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．サステナビリティへの取り組み（1）全体方針

持続成長へ向けた企業活動を、適切な開示により各ステークホルダーへ訴求



©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

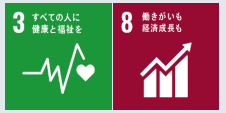
3．サステナビリティへの取り組み（2） SDGｓの取り組み（本業活動）

重要課題	事業分野	内容	SDGsテーマ
産業とICTのイノベーション	当社事業全般	➢ 情報化の創造・提供による社会貢献 ➢ 産業構造の変革をICTでサポート ➢ 共創・共同体制の構築、エコシステムの変革に貢献 ➢ グループ会社、パートナー会社との連帯	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
ICTを活用した学習活動のサポート	GAKUEN	➢ 大学の未来を創るトータルソリューションの提供 ➢ ICTを活用した質の高い授業支援、テクノロジーを活用した教育 ➢ 教育ビッグデータ活用による教育の質向上支援 ➢ リカレント教育（生涯学習）環境の実現 ➢ 教育のデジタル化を実現するAI、IoTの研究開発 ➢ Z世代向け新サービスの提供	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
医療費の適正化と健康増進への貢献	医療ビッグデータ事業	➢ 医療ビッグデータの活用による「保険者様に向けた医療費の適正化と加入者様の健康増進」を推進 ➢ アカデミア等との共同研究による「感染症などの疾病、医療問題への課題解決」に貢献 ➢ 医療ビッグデータをオープンデータとして一般公開	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
情報系統合パッケージによる金融業務の効率改善	BankNeo	➢ 金融機関の情報系統合パッケージビジネスによる社会貢献	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
デジタル化の促進により企業の改革に貢献	DX＆SI事業	➢ 社員食堂やオフィス内でのキャッシュレスサービス ➢ 人材データプラットフォーム「mieHR」 ➢ Office DX -顔認証打刻-	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任つかう責任

※弊社コーポレートサイト「SDGｓの取り組み」からの抜粋

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．サステナビリティへの取り組み（3） SDGｓの取り組み（経営管理）

重要課題	事業分野	内容	SDGsテーマ
健康経営への取り組み	健康経営	➢ 「健康経営」の推進 ➢ 定期健康診断・人間ドックの受診促進 ➢ 長時間勤務撲滅 ➢ コミュニケーション促進に向けた取り組み（イベント等） ➢ 心身の健康増進	
学びの機会提供	育成・教育	➢ 社内研修制度の充実（社内認定資格の運用等） ➢ インターンシップ（学生向けにシステムエンジニアの職業体験を提供） ➢ システム開発を通じた教育・学習支援	
ダイバーシティへの取り組み	採用・処遇	➢ 人種・国籍・性別等にとらわれない採用と公正な処遇 ➢ 多様な働き方を支える社内諸制度 ➢ 株式会社エスプールプラス様運営「わーくはぴねす農園」との契約	
環境負荷の低減	経営管理全般	➢ オフィスDX推進によるペーパーレス化への取り組み ➢ オフィスやデータセンター等での環境問題対策への取り組み	

※弊社コーポレートサイト「SDGｓの取り組み」からの抜粋

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

Contents

Ⅰ. 2023.3期 サマリー
Ⅱ. 業績概況
Ⅲ. 2024.3期予想と直近の取り組み
Ⅳ. 長期成長戦略
Ⅴ. Appendix

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

1. 企業情報

社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd.（略称 JAST）
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：4323）
設立	1973年3月26日
資本金	15億3,540万円（2023年３月31日現在）
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島二丁目3番18号（中之島フェスティバルタワー29階） 東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号（太陽生命品川ビル27階）
代表者	代表取締役社長 平林 武昭
従業員数	連結：1,687名（2023年3月31日現在） 2023年４月１日付の新入社員（連結）：117名
系列	なし（完全独立系）
拠点	大阪、東京、シンガポール、タイ、マレーシア、インド、中国

事業 セグメント	1. DX&SI事業 2. パッケージ事業 3. 医療ビッグデータ事業 4. グローバル事業
各種資格	• プライバシーマーク認定 • ISO9001 登録事業者 • ISO14001 登録事業者 • ISO27001 登録事業者 • ISO20000 登録事業者※ • 健康経営優良法人2023
各種 認証マーク	CERTIFIED JQA MANAGEMENT SYSTEM ISO 9001·ISO 14001 ISO/IEC 27001 CERTIFIED JQA MANAGEMENT SYSTEM ISO/IEC 20000 JQA-IT0085 たいせつにします プライバシー 11820096 2023 健康経営優良法人 Health and productivity

※当社ヘルスケアイノベーション事業部で登録

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．グループ一覧

★ **桂林安信軟件有限公司**
中国（広西チワン族自治区桂林市）
★オフショア開発拠点 ★中国国内拡販拠点

★ **上海嘉峰信息科技有限公司**
中国（上海市）
★中国の開発兼プロダクト販売拠点

★ **JASTEC(THAILAND) CO., LTD.**
タイ（バンコク）
★現地日系企業向けITサービス

★ **JAST Asia Pacific CO., LTD.**
タイ（バンコク）
★ASEANでのJASTブランド展開

★ **Bright & Better Co., Ltd.**
タイ（バンコク）
★統合パッケージソフト導入コンサルテーション
ソフトウェア受託開発

★ **Virtual Calibre グループ（4社）**
マレーシア（クアラルンプール近郊）
インド（チェンナイ）
★SAP事業展開

★ **AG NET PTE. LTD.**
シンガポール
★HRM事業展開

大阪本社　東京本社

★ **大阪本社**
大阪市北区中之島二丁目3番18号
中之島フェスティバルタワー28・29階

★ **株式会社新日本ニーズ**
大阪市
★地域密着型ITサービス

★ **東京本社**
東京都港区港南二丁目16番2号
太陽生命品川ビル5・26・27階

★ **アルファコンピュータ株式会社**
東京都品川区
★マルチベンダITインフラ設計

★ **株式会社アイエスアール**
東京都千代田区
★受託開発、パッケージ開発・販売

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

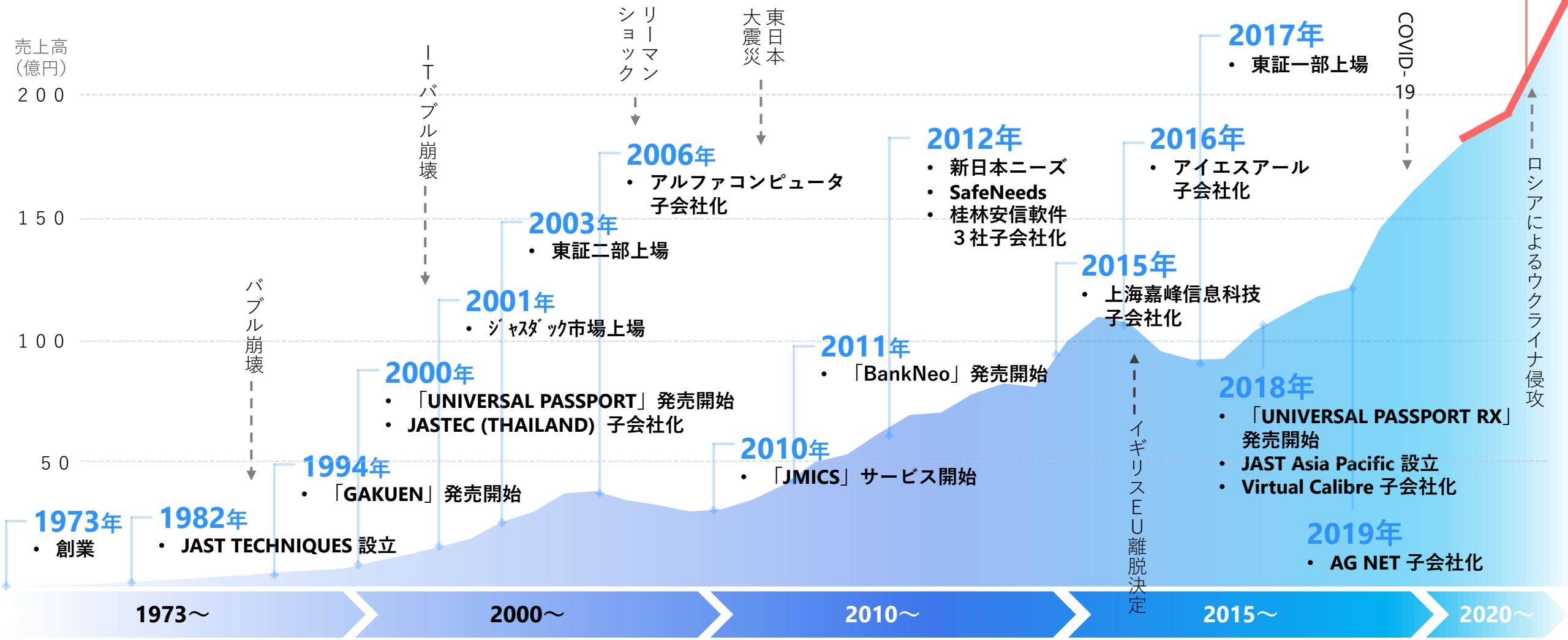
3. 沿革

2020年
- 「iBss」サービス開始
- 「mieHR」発売開始
- 「GAKUENサブスクリプション」発売開始
- 「GAKUEN RX 」発売開始

2021年
- 「SMART BankNeo」発売開始

2022年
- 東証プライム市場移行
- Bright & Better設立

2023年
- 創立50周年
- 「DX認定事業者」認定
- 東証プライム市場上場維持基準適合
- Virtual Calibre Consulting India Pvt. Ltd.孫会社化



©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

4．事業内容（1）事業一覧

DX＆SI事業

受託開発・開発支援・ソリューション開発・導入

完全独立系の強みを活かし、
幅広い分野に渡り多種多様な
情報システム/サービスを提供

◆SI
幅広い業界・ビジネス領域へ
システム開発を提供

◆ソリューション
自社開発及び協業ソリュー
ションの構築・運用・分析・
関連システム開発

◆サービス
コンサルテーション・データ
サイエンス・クラウド基盤構築
から運用保守、データ分析・
活用等

<JASTブランド製品>

・人材データプラットフォーム

mieHR

・社内向けキャッシュレスサービス
・Office DX －顔認証打刻－

パッケージ事業

自社パッケージソリューション開発販売

自社開発のブランド製品の開発・販売と
導入コンサルティングを中心に、
関連する環境構築やシステム開発を提供

◆GAKUEN
国内トップシェア（全国400校以上
の大学、短期大学が導入）の大学
向け総合パッケージシステム。
「GAKUENシリーズ」の開発・
販売と導入・コンサルテーション

GAKUEN

◆BankNeo
金融機関向けパッケージ
ソリューション「BankNeo」の
開発・販売・導入。
2021年にはメガバンクでもご採用。
現在の総ユーザ数は58金融機関。

BankNeo

医療ビッグデータ事業

医療情報データの点検分析及び関連サービス

複数のヘルスケア事業を展開し、
医療データ利活用と保険者業務改革を
推進するワンストップサービスを提供

◆レセプト自動点検システム

JMICS
JAST Medical Insurance Checking System

◆保険者業務支援サービス

iBss

◆生活保護向けレセプト管理システム

生活保護等版
レセプト管理クラウドサービス
RezeptPlus ※5

◆データヘルス事業
◆データ利活用

REZULT

グローバル事業

アジア・パシフィック地域を中心としたグローバルDXビジネス

海外５カ国にグループ企業をもち、
ERPやHRM製品の開発・販売・導入
コンサルティングとシステム開発を提供

◆展開国

マレーシア　インド　タイ
シンガポール　中国

◆事業内容
・SAP※1導入コンサルティング
及び関連サービス
（マレーシア、インド）
・ERP導入及び
関連サービス開発（タイ）
・クラウド型HRMソリューション
“AGHRM®”開発（シンガポール）

AGHRM®

・オフショア開発（中国 桂林）

※他社ソリューションの商標については当資料末尾「商標」に記載しております

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

4．事業内容（2）JASTブランド：GAKUEN

導入実績437校を突破したトップブランド
高等教育機関の活動を包括的に支援する統合プラットフォーム

DX主要テーマ

※：開発中

UNIVERSAL PASSPORT

ポータルシステム

学生/教員/職員へ
学内の統合データを活用した
包括的サービスを提供

教務業務	• 教務 • 教室 • シラバス一括印刷 • シラバス外部公開
ポートフォリオ	• 学修ポートフォリオ • マイステップ • 履修カルテ
情報配信	• ポータル • スマホアプリ • WEB申請
就職・学生支援	• 就職 • 学生 • 電子マネー • ポイント管理
教育支援	• 授業 • 教員タブレット • 出欠管理 ースマホ出席/IC出欠連携
情報公開	• 研究業績

キャッシュレス

E-learning

スマートフォン

データ一元管理

サブスクリプション

GAKUEN

基幹事務システム

入学から卒業までの
学生情報を一元管理・蓄積し
経営戦略策定/業務改善へ寄与

入試	教務	就職	学費
奨学金	AI 時間割編成 ※	Create Report	自動証明書発行機

ERP

AI

OEM機器

- 現金チャージ機
- 券売機
- POSレジ
- IC出欠管理端末
- 自動証明書発行機

弊社GAKUENシリーズの詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

4．事業内容（3）JASTブランド：BankNeo

導入容易性と拡張性を活かしたスマート＆ニッチソリューションを豊富に展開
金融機関のDXを推進する統合パッケージ

フロントコンプライアンス
2024.3期 リリース予定
- 業務フロー統一＆ペーパーレス
- 法令順守
- CRM連携

TQSM NAVI
2023.3期 リリース
- 渉外活動・渉外管理の生産性向上
- 人材のセールススキルの底上げ
- 組織強化

SMART BankNeo CRM/SFA
2022.3期 リリース
- 顧客一元管理＋営業支援

電子帳票
2022.3期 リリース
- 事務負担の軽減
- ペーパーレス化

預り管理
2020.3期 リリース
- 情報管理の強化
- ペーパーレス化

クラウド
- 万全なセキュリティ
- 管理運用負担の軽減

その他ソリューション
- 相続管理/経営管理等
- 多様な拡張性

JAST Solution for BANKING BankNeo

全国の金融機関で多数の導入実績

スモールスタートによる導入容易性

導入後の高い拡張性

30年を超えて蓄積した豊富なノウハウ

顧客ニーズを捉えたサービスラインナップ

弊社BankNeoシリーズの詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

4．事業内容（4）JASTブランド：JMICS

月間レセプト処理数700～1000万枚、大量の医療データを活用し、保険者業務支援から分析・事業コンサル・保健事業実行までトータルに支援

給付・適用関連サービス

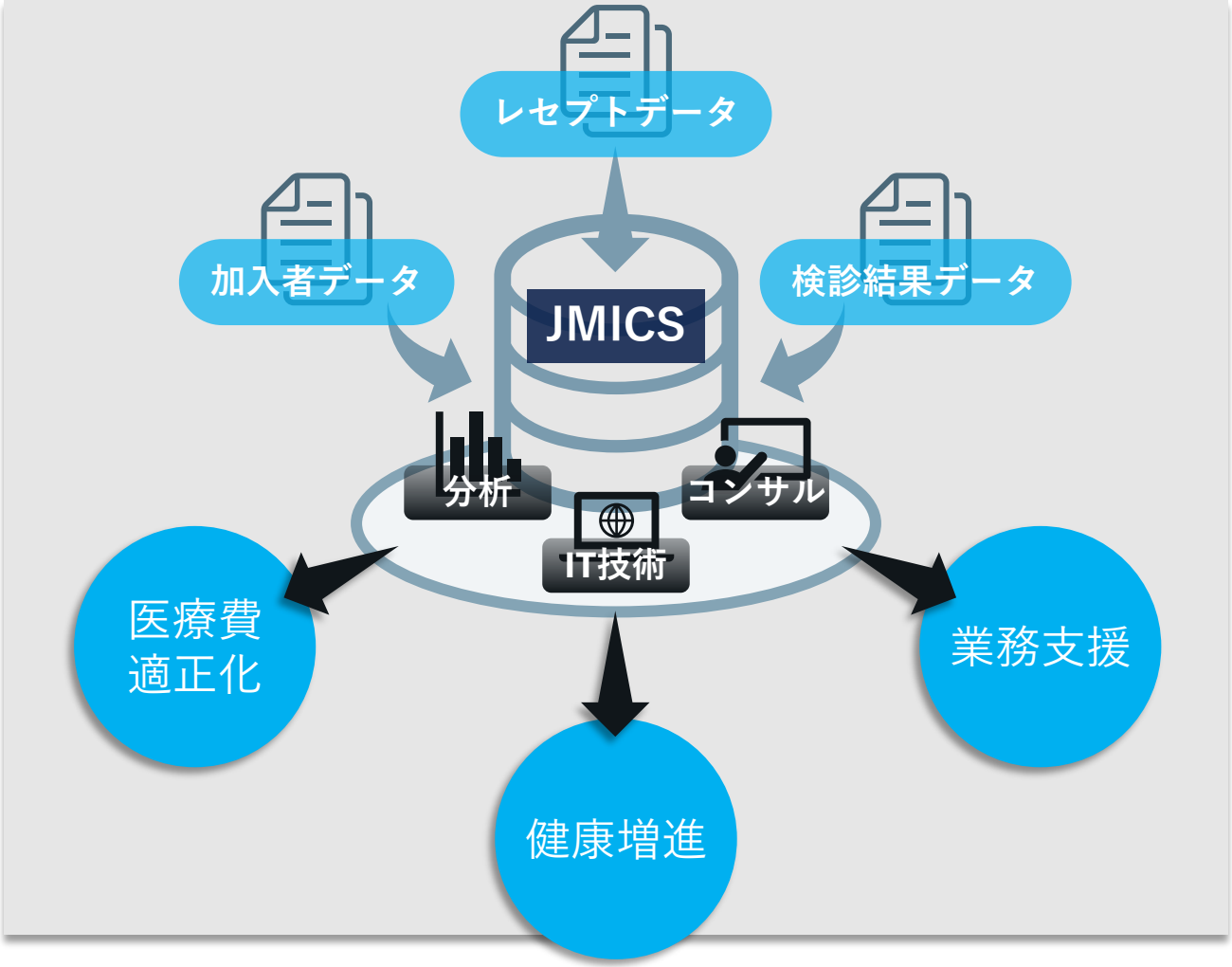
システムを利用したレセプト点検と被扶養者調査や補助金申請支援

- 点検業務【JMICS】
  - ➢ レセプト点検
  - ➢ 海外療養費点検、柔整点検
- Web申請【iBss】
  - ➢ 被扶養者調査システム（検認）
  - ➢ 各種申請（インフルエンザ予防接種補助金）

通知サービス

医療費適正化に向けた対象者抽出と是正通知

- WEB通知
- ジェネリック医薬品使用促進通知
- 重複・頻回受診者抽出、是正通知
- 医薬品重複投与者抽出、是正通知
- 受診勧奨通知発送
- その他、受療行動適正通知　etc.



医療費分析サービス

レセプト、健診データを中心に各種保健事業や介護データにも対応

- データヘルス策定から実行までのトータルサポート
- レセプト/健診データ分析
- 保健事業の実施効果分析
- 各種分析レポート、ベンチマーク
- GISを活用した地域別医療費分析
- 介護データの分析

保健指導サービス

保健師、管理栄養士、看護師等による保健指導

- 対象者の抽出業務
- 生活習慣病重症化予防
- 糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- 特定保健指導（対面・ICT）
- 適正受診指導（重複、頻回等）

弊社医療ビッグデータ事業の詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

5．理念先行経営

創業来、道経一体思想（経営の品質は人の品質に尽きる）のもと「はじめに理念ありき」の理念先行経営を貫徹

基本精神

天爵を修めて人爵これに従う

- 天爵：不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めることで尊敬/信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位
- 人爵：業績や経験に基づき団体や上司から与えられた人為的/便宜的な外見上の位階

先に人爵を与えられることで、あたかも自分は天爵も得たものと錯覚する。一人ひとりがまず**「天爵を修める」**ことを、経営活動・人材育成における究極のテーマとしています

経営方針

完全独立系の立場を堅持

目の前のお客様と本質的に向き合うため、**一切の制約無く自由な立場で挑戦できる**、完全独立系の立場を堅持しています。**あらゆる産業・技術分野で蓄積した成果と知見**が、今のJASTの強さとなっています

四方良し

お客様、株主、社員、社会とwin-winの関係を築くべく**「四方良し」**の理念を掲げます。各ステークホルダの価値を最大化し、総体としての企業価値を高めることで、**長期安定成長を追求**しています

「人づくり」経営

人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基く**「人づくり」経営**で、企業成長の原動力である**情報技術への情熱とお客様への誠心誠意のサービス**をJASTの個々人に育みます

不易流行

松尾芭蕉の確立した**「不易流行」**（本質的なものを守りつつ、新しい変化を取り入れ、価値を創造すること）の理念に則り、**一貫した経営理念＝「不易」**で**変わる経営＝「流行」**を正しくリードします

弊社経営理念及び企業理念体系の詳細はこちら

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

6．経営方針

経営方針を人事・生産・営業・財務の４つの理念に落とし込み、長期安定成長への指針としている

人事理念
人が財産

「人物」重視

- 長期的人材育成を主眼とした採用活動、文系・理系出身を問わず技術者として育成
- キャリア採用を活用しスペシャリスト人材・新たな知見を確保
- 成長・評価・環境の観点で従業員満足を図り、高い社員定着率を実現

➢ 品質安定
➢ 知見蓄積と変化対応の両立

生産理念
品質第一

品質・信頼へのこだわり

- 社員中心のプロジェクト編成
- 請け負った仕事は最後までやり抜く。途中退場しない

➢ 高いリピートオーダー率
➢ 大手顧客との長期取引

積極的研究開発

- 業界平均を上回る売上高研究開発費率
- M＆A/業務提携等の推進によるシナジー創出
- 社内でのDX技術取得の促進
- 産学官連携の共同研究を推進し社会的価値を創出

➢ 新商材・事業創出のサイクル化
➢ 社内技術の錬成と他社知見の活用

営業理念
顧客第一

営業戦術

- 顧客の業界/業務に伴走し提案型SIビジネスを推進、リピート案件を発掘
- 専門営業による課題解決/共創型提案
- アライアンスを活用した幅広い提案で、あらゆる顧客課題へ適切に対応

➢ 長期顧客形成
➢ ＤＸ提供ビジネス
➢ 異種４事業の共栄

財務理念
自立自営

徹底したコスト管理

- 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- コンパクトな本社間接部門

➢ 低コスト体質
➢ 安定した業績成長

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.

ご清聴ありがとうございました

未来を、仕掛ける。

日本システム技術株式会社
https://www.jast.jp/

お問い合わせ
https://www.jast.jp/contact/

【注意】
本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。なお、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。

【商標】
※１：SAP及びSAPロゴ、SAP製品は、ドイツ及び世界各国におけるSAP AGの商標または登録商標です。
※２：Salesforce 及び Salesforce ロゴはSalesforce.com,inc.の登録商標です。
　　またその他サービス名もSalesforce.com,inc.の登録商標または商標です。
※３：mcframeのロゴ及びその他すべてのmcframeの製品、機能、サービス名は、ビジネスエンジニアリング株式会社の登録商標または商標です。
※４：GLOVIA smart PRONES 及びGLOVIA smart製品は、日本及びその他の国における富士通株式会社の商標または商標です。
※５：RezeptPlus及びRezeptPlusロゴは富士通Japan株式会社の登録商標です。

©2023 Japan System Techniques Co., Ltd.